

工事名称 長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館（I期）改修工事

設計図書・参考数量に対する変更一覧（追加指示書）

令和7年7月22日

## 設計図書・参考数量に対する変更一覧（追加指示書）

（上富岡町）附属図書館（Ⅰ期）改修工事

No	図面番号	長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館（Ⅰ期）改修工事
1	特A-01	1 各章共通事項 施工条件に「8)今回工事は、執務並行改修である。」ことについて追記する。 特A-01（改修特記仕様書(1)）図を差し替える。
2	A-05	渡り廊下（B）改修後の外壁・柱型の仕上について、既存のままに変更する。
3	A-115	渡り廊下A屋上平面図の脱気筒SUS製1箇所新設を削除する。 A-115（渡り廊下A矩計図（改修前・改修後））図を差し替える。
4	A-116	渡り廊下B Y方向矩計図及び屋上防水一般部改修前、改修後断面図の外壁の仕上について、既存のままに変更する。 A-116（渡り廊下B矩計図・部分詳細図（改修前・後））図を差し替える。
5	参考数量	上記変更一覧及び質疑事項回答書により、参考数量表を全て差し替える。

# 長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(I期)改修工事

## 図面リスト

意匠図										構造図				
番号	図面名	縮尺	番号	図面名	縮尺	番号	図面名	縮尺	番号	図面名	縮尺			
A-00	表紙・図面リスト	—	A-26	2階天井伏図(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-61	1階展開図7(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-96	内部建具表5(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	特S-01	改修特記仕様書 構造関係(1)	—
特A-01	改修特記仕様書(1)	—	A-27	2階天井伏図(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-62	1階展開図8(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-97	内部建具表6(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	特S-02	改修特記仕様書 構造関係(2)	—
特A-02	改修特記仕様書(2)	—	A-28	3階・PH階天井伏図(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-63	1階展開図9(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-98	内部建具表7(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	S-01	構造特記仕様書(1)	1/100(A1) 1/200(A3)
特A-03	改修特記仕様書(3)	—	A-29	3階・PH階天井伏図(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-64	2階展開図1(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-99	内部建具表8(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	S-02	構造特記仕様書(2)	1/100(A1) 1/200(A3)
特A-04	改修特記仕様書(4)	—	A-30	矩計図1(改修前)	1/30(A1) 1/60(A3)	A-65	2階展開図2(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-100	内部建具表9(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	S-03	[改修前]各階伏図	1/100(A1) 1/200(A3)
特A-05	改修特記仕様書(5)	—	A-31	矩計図1(改修後)	1/30(A1) 1/60(A3)	A-66	2階展開図3(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-101	内部建具表10(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	S-04	[改修前]軸組図(1)	1/100(A1) 1/200(A3)
特A-06	改修特記仕様書(6)	—	A-32	矩計図2(改修前)	1/30(A1) 1/60(A3)	A-67	2階展開図4(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-102	1階家具・サイン工事キープラン	1/100(A1) 1/200(A3)	S-05	[改修前]軸組図(2)	1/100(A1) 1/200(A3)
特A-07	改修特記仕様書(7)	—	A-33	矩計図2(改修後)	1/30(A1) 1/60(A3)	A-68	2階展開図5(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-103	2階家具・サイン工事キープラン	1/100(A1) 1/200(A3)	S-06	[改修後]各階伏図	1/100(A1) 1/200(A3)
特A-08	改修特記仕様書(8)	—	A-34	A階段詳細図・矩計図	1/10,1/30,1/50(A1) 1/20,1/60,1/100(A3)	A-69	2階展開図6(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-104	3階・PH階家具・サイン工事キープラン	1/100(A1) 1/200(A3)	S-07	[改修後]軸組図(1)	1/100(A1) 1/200(A3)
特A-09	特記仕様書(工事区分表)	—	A-35	B階段平面詳細図(改修前)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-70	2階展開図7(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-105	<del>家具工事詳細図 欠番</del>	<del>1/5,1/25(A1) 1/10,1/50(A3)</del>	S-08	[改修後]軸組図(2)	1/100(A1) 1/200(A3)
A-01	工事概要	—	A-36	B階段矩計図(改修前)	1/10,1/30(A1) 1/20,1/60(A3)	A-71	2階展開図8(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-106	サイン詳細図(1)	1/2,1/15(A1) 1/4,1/30(A3)	S-09	RC増設壁補強詳細図(1)	1/30(A1) 1/60(A3)
A-02	全体配置図・附近見取図	1/1500(A1) 1/3000(A3)	A-37	B階段平面詳細図(改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-72	2階展開図9(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-107	サイン詳細図(2)	1/1,1/15(A3) 1/2,1/30(A3)	S-10	RC増設壁補強詳細図(2)	1/30(A1) 1/60(A3)
A-03	施設周辺配置図	1/200(A1) 1/400(A3)	A-38	B階段平面図・断面図(改修後)	1/10,1/50(A3) 1/20,1/100(A3)	A-73	2階展開図10(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-108	部分詳細図1	1/10,1/15,1/50(A1) 1/20,1/30,1/100(A3)	S-11	RC増設壁補強詳細図(3)	1/30(A1) 1/60(A3)
A-04	面積表	1/300(A1) 1/600(A3)	A-39	C・D階段平面詳細図(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-74	3階展開図1(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-109	部分詳細図2	1/2,1/10(A1) 1/4,1/20(A3)	S-12	RC開口閉塞壁補強詳細図	1/30(A1) 1/60(A3)
A-05	外部仕上表	—	A-40	C・D階段矩計図	1/30(A1) 1/60(A3)	A-75	3階展開図2(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-110	渡り廊下各階平面図(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)	S-13	鉄骨ブレース補強(1)	1/30(A1) 1/60(A3)
A-06	内部仕上表1	—	A-41	E階段詳細図・矩計図(改修前・改修後)	1/30,1/50(A1) 1/60,1/100(A3)	A-76	3階展開図3(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-111	渡り廊下各階平面図(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	S-14	鉄骨ブレース補強(2)	1/30(A1) 1/60(A3)
A-07	内部仕上表2	—	A-42	F階段平面詳細図・矢視断面図	1/10,1/30(A1) 1/20,1/60(A3)	A-77	3階展開図4(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-112	渡り廊下各階天井伏図(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)	S-15	[参考図] 既存部材リスト1	1/30(A1) 1/60(A3)
A-08	内部仕上表3	—	A-43	1階平面詳細図1(改修前)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-78	3階展開図5(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-113	渡り廊下各階天井伏図(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	S-16	[参考図] 既存部材リスト2	1/30,1/100(A1) 1/60,1/200(A3)
A-09	全体各階平面図(改修前)	1/200(A1) 1/400(A3)	A-44	1階平面詳細図2(改修前)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-79	1階建具キープラン(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-114	渡り廊下A平面詳細図・屋上DS矩計図(改修前・後)	1/30,1/50(A1) 1/60,1/100(A3)	S-17	[参考図] 既存部材リスト3	1/30(A1) 1/60(A3)
A-10	1階平面図(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-45	1階平面詳細図1(改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-80	1階建具キープラン(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-115	渡り廊下A矩計図(改修前・改修後)	1/10,1/30,1/50(A1) 1/20,1/60,1/100(A3)	S-18	[参考図] 既存部材リスト4	1/30(A1) 1/60(A3)
A-11	1階平面図(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-46	1階平面詳細図2(改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-81	2階建具キープラン(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-116	渡り廊下B矩計図・部分詳細図(改修前・後)	1/5,1/10,1/30(A1) 1/10,1/20,1/60(A3)			
A-12	2階平面図(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-47	2階平面詳細図1(改修前)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-82	2階建具キープラン(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-117	渡り廊下各階建具キープラン(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)			
A-13	2階平面図(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-48	2階平面詳細図2(改修前)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-83	3階建具キープラン(改修前) (参考図)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-118	渡り廊下各階建具キープラン(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)			
A-14	3階平面図(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-49	2階平面詳細図1(改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-84	3階建具キープラン(改修後) (参考図)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-119	外構図(改修前)	1/200(A1) 1/400(A3)			
A-15	3階平面図(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-50	2階平面詳細図2(改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-85	R階・PH階建具キープラン(改修前)(参考図)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-120	外構図(改修後)	1/200(A1) 1/400(A3)			
A-16	R階・PH階平面図(改修前) (参考図)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-51	3階平面詳細図1(改修前)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-86	外部建具表1(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)						
A-17	R階・PH階平面図(改修後) (参考図)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-52	3階平面詳細図2(改修前)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-87	外部建具表2(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)						
A-18	西立面図(改修前・改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-53	3階平面詳細図1(改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-88	外部建具表3(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)						
A-19	南立面図(改修前・改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-54	3階平面詳細図2(改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-89	外部建具表4(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)						
A-20	東立面図(改修前・改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-55	1階展開図1(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-90	外部建具表5(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)						
A-21	北立面図(改修前・改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-56	1階展開図2(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-91	外部建具表6(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)						
A-22	断面図(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-57	1階展開図3(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-92	内部建具表1(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)						
A-23	断面図(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-58	1階展開図4(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-93	内部建具表2(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)						
A-24	1階天井伏図(改修前)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-59	1階展開図5(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-94	内部建具表3(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)						
A-25	1階天井伏図(改修後)	1/100(A1) 1/200(A3)	A-60	1階展開図6(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)	A-95	内部建具表4(改修前・改修後)	1/50(A1) 1/100(A3)						

Notices	Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(I期)改修工事	Project No.	2024_DCS23-NGOKLI	Scale	N. S.	SHIBATA Architect and Associates	株式会社 シバタ建築設計事務所 富山県小矢部市泉町7-30 TEL. 0766(68)1177 / FAX. 0766(68)1321 https://shibata-and-associates.com/	Drawer	一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩	Drawing No.	A-00
		Client	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館改修実施設計業務(建築・設備)	Drawing Name.	表紙・図面リスト	Date	2025.06			Drawer	管理建築士 第21408121601014号 一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩		

長岡技術科学大学（上富岡町）附属図書館（I期）改修工事	
I 工事概要	
1. 工事場所	新潟県長岡市上富岡町1603-1(長岡技術科学大学構内)
2. 完成期限	令和 8年 3月 19日(木)
3. 建物概要	
建物名称	附属図書館
工種	模様替え
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階建
建築基準法による	建築面積(m <sup>2</sup> ) 1,254 延べ面積(m <sup>2</sup> ) 3,147
消防法施行令別表第一の区分	7項
改修面積(m <sup>2</sup> )	2,071(1.2階)
備考	
4. 工事種目	
○ 印の付いたものが対象工事種目	
工事種目	建物別及び屋外 工事種別
○ 2 仮設工事	一式
○ 3 防水改修工事	一式
○ 4 外壁改修工事	一式
○ 5 建具改修工事	一式
○ 6 内装改修工事	一式
○ 7 塗装改修工事	一式
○ 9 環境配慮改修工事	一式
○ 13 屋根及びとい工事	一式
○ 20 ユニット及びその他工事	一式
○ 21 排水工事	一式
○ 22 舗装工事	一式
○ 4 地業工事	一式
○ 5 鉄筋工事	一式
○ 6 コンクリート工事	一式
○ 7 鉄骨工事	一式
5. 指定部分	○無 ・有 対象部分( ) 指定部分工期 令和 年 月 日(曜日)
6. 概成工期	○無 ・有 令和 年 月 日(曜日) (1.2.1)[1.2.1]
II 工事仕様	
1. 共通仕様	
(1) 文部科学省発注工事請負等契約規則(文部科学省訓令第二十二号)別記第1号の工事請負契約基準、現場説明書、図面 136 枚及び本特記仕様書 11 枚によるほか、下記仕様書のうち、○印の付いたものを適用する。	
○ 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「標準仕様書」という。)	
○ 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)(以下「改修標準仕様書」という。)	
○ 文部科学省建築工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科仕様書」という。)	
○ 文部科学省建築改修工事標準仕様書(特記基準)(令和4年版)(以下「文科改修仕様書」という。)	
○ 工事写真撮影要領(令和5年9月)	
○ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版)	
○ 建築工事標準詳細図(令和4年版)	
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの特記仕様書を適用する。 なお、電気設備工事の特記仕様書は( )による。 機械設備工事の特記仕様書は( )による。	
2. 特記仕様	
(1) 本特記仕様書の表記	
1) 項目は、○印の付いたものを適用する。	
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。	
○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。	
3) 特記事項に記載の( )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の[ ]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の(( ))内表示番号は、文科仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。特記事項に記載の[[ ]]内表示番号は、文科改修仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。	
4) ㊦印は、「国等による環境物品等の調達推進に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月25日変更閣議決定)」に定める特定調達物品における判断の基準(特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準)を満たすものを示す。	

1 各章共通事項	○ 適用区分	○ 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○ 風圧力 風速(Vo= 30 m/s) 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ) ○ 積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表(30) 長岡市建築基準法施行令細則より垂直積雪量250cm 積雪単位荷重29.4N/cm
	○ 電気保安技術者、工事用電力設備の保安責任者	(1.3.3~4)[1.3.3~4] この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。 項目名 電気保安技術者 1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者 ○ 2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ・ 3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者 ・ 4 旧電気工事技術者検定規定規則による高任電気工事技術者の検定に合格した者 ・ 5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高任試験に合格した者 ・ 6 第1種電気工事士の資格を有する者 ○ 7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者 ・ 8 第2種電気工事士以上の資格を有する者 ○ 9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学(実験を含む)に関する科目を修めて卒業した者 ・ 工事用電力を構外から引き込む場合は、法令に基づく有資格者を定め、監督職員に報告する。
	○ 施工条件	この工事現場では、次の施工条件による。(1.3.5)[1.3.5] 1) 工事用地内の除雪は、受注者が行う。 2) その他、学内行事等のため工事を制限する場合がある。 3) 大学敷地内は屋外屋内又は車内問わず全面喫煙禁止である。 4) 令和7年11月15日(土)は入学試験のため作業は行わないこと。 5) 令和8年1月17日(土)、18日(日)は大学入学共通テストのため作業は行わないこと。 6) 令和8年2月25日(水)は入学試験のため作業は行わないこと。 7) 令和7年9月13日(土)、14日(日)は大学祭のため作業は行わないこと。 8) 今回工事は、執務並行改修である。
	○ 発生材の処理等	(1) 引渡しを要するもの (1.3.11)[1.3.12] 1) 品名 なし 引渡し先 _____ 集積場所 _____ (2) 特別管理産業廃棄物 1) 品名 なし 処理方法 _____ (3) 現場において再利用を図るもの 1) 品名 なし 使用箇所 _____ (4) 再資源化を図るもの 1) 品名 なし 受入場所 _____ 2) 品名 _____ (5) その他発生材については、標準仕様書に従い、適切に処理する。
○ 環境への配慮	(1.4.1)[1.4.1] 建築物内部に使用する材料等とは、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散量が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を除く)が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。	
○ 材料の品質等	(1.4.2)[1.4.2] (1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 製品名が記載された材料は、当該製品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 (3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 (4) 本工事に使用する材料のうち、(5)に指定する材料の製造所等は、以下に指定する事項を満たすものとし、その証明となる資料を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ・ 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ・ 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ・ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ・ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ・ 安定的な供給が可能であること。 ・ 販売、保守等の営業体制を整えていること。 (5) 製造所等に関する資料の提出を求める材料 _____ _____ _____	

○ 施工の立会い	(1.5.7)[1.7.7] 標準仕様書等に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。 施工の立会いを行う工程 備考 外壁関係 外部足場を解体する前 軽量鉄骨下地組 下地組が完了した階段
○ 化学物質の濃度測定	(1.5.9)[1.7.9] (1) 施工完了後、引渡前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。 測定対象化学物質 指針値(両単位の換算は、25℃の場合による。) ホルムアルデヒド 100µg/m <sup>3</sup> (0.08ppm)以下 トルエン 260µg/m <sup>3</sup> (0.07ppm)以下 キシレン 200µg/m <sup>3</sup> (0.05ppm)以下 エチルベンゼン 3800µg/m <sup>3</sup> (0.88ppm)以下 スチレン 220µg/m <sup>3</sup> (0.05ppm)以下 (2) 測定対象室及び測定箇所数は以下表による。 種名称 階 室名 採取本数 附属図書館 1 プレゼンテーションスペース 1 資料室1 1 ラーニングコモンズ 1 2 開架閲覧室 1 開架閲覧室 2 (3) 測定方法は、○吸引方式(アクティブ法)・拡散方式(パッシブ法)により行う。 (4) 文部科学省の「学校環境衛生基準」に基づき、採取は室内の温度が高い時期に行い、吸引方式では30分間で2回以上、拡散方式では8時間以上行う。 (5) 測定結果が指針値を超えた場合は、発生源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定し、基準値以下であることを確認してから引渡しを行う。
○ 完成時の提出図書	(1.7.1~3)[1.9.1~3] 次の図書を監督職員に提出する。また、それらを本工事事務目的に同じ使用するための権利については、発注者に委譲する。 ① 完成図書 CADデータ(電子納品)及び電子データ(PDF形式) 1部 =A3図面 _____部 =A1図面 _____部 A3複写図(製本) 1部 A1複写図(製本) 1部 施工計画書 _____部 M4ファイル綴じ 1部 施工図(提出部数等は監督職員と協議による。) ② 安全に関する資料 電子データ(PDF形式) _____部 M4ファイル綴じ 1部 ③ 工事写真(「工事写真撮影要領」による。) 原本(電子媒体) 1部 アルバム(紙又は電子媒体) 1部 ④ 完成写真 工事完成時に次の写真を撮影し、監督職員に提出する。 撮影部位 形式・サイズ 提出 セット数 画素数 及び画質等 撮影者 及び箇所数 外観正面 (1)箇所 ・電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度) 1 ・カラー印刷紙キャビネ判 1 4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの 上記と異なる外部: 箇所 内部: 箇所 ・電子データ(JPEGフルカラー・圧縮率1/4程度) 1 ・カラー印刷紙キャビネ判 1 ・カラー印刷紙キャビネ判 A4アルバム綴じ(注) 1 1280×960ピクセル以上かつ撮影したデジタルカメラの設定のうち最高の画質 外部: 4箇所 内部: 各室2箇所 任意 (注)のアルバムは併せて作成する。 電子納品は次の規定に従うものとする。 1) 貸与する設計図のCADデータは以下による。 著作権者 長岡技術科学大学 施設課 ファイル形式: JWW、PDF、DXF 貸与条件: 貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のために以外に使用しないこと。 2) 完成写真の撮影に関する著作権者の権利等については次のi)及びii)によることとし、受注者は撮影者等との契約に当たってもそれらの承諾を条件とする。 i) 提出された写真は、国が行う事務及び国が認めた用途に関して、無償で利用することができるものとする。この際、著作権者を表示しないこと及びその利用に必要な範囲で改変を行うことができるものとする。 ii) 受注者及び撮影者等は、撮影時に取得した全ての写真(提出していないものを含む。)及びその複製物、複製物を公表、閲覧、譲渡その他一切の方法により第三者に使用させてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。

○ 他工事又は他工程との取合い	・ 埋設配管・配線および鉄筋調査	3) 電子納品の対象は上記によるほか、監督職員と受注者で協議を行う。 4) 電子成果品は、提出前に電子成果品作成支援・検査システムによるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウイルス対策を実施したうえで監督職員に提出する。 5) 提出方法及びファイル形式は以下による。 電子媒体: ①-R又はDVD-R CADデータ: JWW、DXF及びPDF 上記の他、監督職員が認めた形式
○ 足場等	○ 設置する (設置範囲) ○工事に必要な範囲 ・ 図示による ・ ) ・ 設置しない 防護シート ○ 設置する (設置範囲) ○工事に必要な範囲 ・ 図示による ・ ) ○ 設置しない 内部足場 ○ 設置する (◎3) 図示、足場板等 ・ ) ・ 設置しない ○ 材料、撤去材等の運搬方法 種別: A種 ・ B種 ・ C種 ○ D種 ・ E種 ) C種: 利用可能なエレベーター ( ) D種: 利用可能な階段 (外部階段)	工事区分表による。これにより難い場合は監督職員と協議する。 あと施工アンカー工事 6章および8章による コア抜き、はつり工事等 ※ 既存資料調査 ・ 探査機(電磁波レーダー法又は電磁誘導法)による探査 配管・配線等の位置の量出を行う範囲 ・ 図示による ・ 放射線透過試験 労働安全衛生法、「電磁放射線障害防止規制」(昭和47年労働省令第41号)等に定めるところによるほか、次による。 (1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。 (2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。 (3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。 (4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるもの有無を確認する。 (5) 躯体の量出しは、表裏で式しがないよう措置を講ずる。 撮影枚数 枚 フィルムサイズ _____ コンクリート厚さ _____cm ・ 既存躯体に穿孔する場合に、金属探知により電源供給が停止できる付属装置を用いる。
○ 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ○ 図示による ・ 仮設間仕切りの種別と材質等	養生方法等 ○ 既存部分 養生方法 ◎3ビニルシート、合板 ・ ) ・ 既存家具、既存設備等 養生方法(※ビニルシート等 ・ ) ・ 既存ブラインド、カーテン等 養生方法(・ビニルシート等 ・ ) ・ 保管場所 ・ 図示による ・ ) ・ 固定された備品、机、ロッカー等の移動 ・ 図示による ・ ) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。
○ 仮設間仕切り	仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ○ 図示による ・ 仮設間仕切りの種別と材質等	[2.3.1][表 2.3.1] 種別 仕上げ(厚さmm) 塗装 充填 ・ A種 ○せつこうボード 種類(◎GB-R ) ○無し 厚さ(◎12.5mm×2 ※9.5mm) ・ 片面 ・ 両面 グラスウール厚さ 50mm ・ 合板 ・ 材料(・ ) 厚さ(・ mm ※9mm) ・ C種 ・ 防護シート 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 材質 仕上げ 塗装 設置箇所 ※木製 ※合板張り程度 ○無し ○3 箇所 ・ 片面 ・ 図示による
○ 騒音・粉じん等の対策	○ 騒音・粉じん等の対策	[2.1.3] ・ 防音パネル ○ 防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ○ 工事に必要な範囲

Notices	Client	Project No.	Scale	SHIBATA Architect and Associates	株式会社 シバタ建築設計事務所	Drawer	Drawing No.
	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	2024_DCS23-NGOKLI	N. S.		〒500-8580 富山県小矢部市長町7-3-0 TEL: 0766(88)1177 / FAX: 0766(88)1321 https://shibata-and-associates.com/	一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩	特A-01
	長岡技術科学大学(上富岡町) 附属図書館改修実施設計業務(建築・設備)	Drawing Name.	Date			管理建築士 21408121601014号 一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩	
			2025.06				

<p>○ 建具用金物</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.7.11により適用は建具表による</p> <p>・金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ○改修標準仕様書表5.8.21による ・建具表による</p> <p>樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書表5.8.31による ・建具表による</p> <p>木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ○改修標準仕様書表5.8.41による ・建具表による</p> <p>木製建具に使用する戸車及びレール ※改修標準仕様書表5.8.51による ・建具表による</p> <p>握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ○建具表による</p> <p>○錠前類 ※シリンダ箱錠及びシリンダ本締まり錠</p> <p>○錠前類 (レバーハンドル)</p> <p>○クローザ類</p> <p>○ 鍵</p> <p>マスターキー ・製作する ○製作しない ○既存のマスターキーに合わせる その他の鍵の製作本数 ○各室3本1組 (室名札付き)</p> <p>・鍵箱 ○無し ○有り</p> <p>・引戸パネ鍵はナレックス (株式会社長沢製作所) 同等品以上とする</p> <p>○ 自閉式上吊り引戸装置</p> <p>性能値等 ○改修標準仕様書表5.10.11による ・以下による 手動開き力 ( ) 手動閉じ力 ( ) 閉じ速度の調整 ( ) 制動区間 ( ) 開閉繰返し ( ) 耐衝撃性 ( )</p> <p>○ 重量シャッター</p> <p>シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ○屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</p> <p>外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 1章 適用区分による風圧力 (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>開閉方式の種類 ※電動式 (手動併用) ・手動式</p> <p>安全装置 電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置 ※設ける (設置箇所 ○建具表による ) ・設けない (設置箇所 ・建具表による )</p> <p>電動式シャッターの障害物感知装置 ※設ける (設置箇所 ○建具表による ) ・設けない (設置箇所 ・建具表による )</p> <p>屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 ※設ける (設置箇所 ○建具表による ) ・設けない (設置箇所 ・建具表による )</p> <p>管理用シャッターのシャッターケース ・設ける ・設けない</p> <p>スラット及びシャッターケース用銅板 銅板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯) ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき銅板及び銅帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質 ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>○ ガラス</p> <p>○フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p> <p>○型板ガラスの厚さによる種類 ○建具表による</p> <p>○網入板ガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ○建具表による</p> <p>・合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ・建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・II-1類 ・II-2類 ・III類</p>	<p>[5. 8. 1~3]</p> <p>[5. 8. 4]</p> <p>[5. 10. 3]</p> <p>[5. 11. 2, 3]</p> <p>[3. 7] [5. 14. 2~4]</p>	<p>○ ガラス用フィルム</p> <p>6 内装改修工事</p>	<p>○強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ○建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・I類 ・III類</p> <p>・熱線吸収板ガラス 板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・建具表による</p> <p>性能による種類 ・1種 ・2種</p> <p>○複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ○建具表による</p> <p>断熱性による区分 ・T1 ○T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ○S 乾燥気体の種類 ○空気 ・アルゴン</p> <p>・熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</p> <p>日射熱遮蔽性による区分 ・1種 ・2種 ・3種 耐久性による区分 (日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・A類 ・B類</p> <p>・倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・建具表による</p> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>○シーリング材 ・グレイジングガスケット</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び鋼製軽量</td> <td>○シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>・シーリング材</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・グレイジングガスケット</td> <td>※建具の製造所の仕様による ・図示による</td> </tr> </tbody> </table> <p>耐震性能 構造体の層間変形に対する追従性 以下の構造体の層間変形角に対して、破損、脱落が生じないよう取り付けられているものとする。 構造体の層間変形角 ・1/100 ・1/200</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">記号</th> <th rowspan="2">その他性能等</th> </tr> <tr> <th>内貼り用</th> <th>外貼り用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・日射調整フィルム [G]</td> <td>・SC-1</td> <td>・SC-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・低放射フィルム</td> <td>・LE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>○G1-1</td> <td>・G1-2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム</td> <td>・GD-1</td> <td>・GD-1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ガラス貫通防止フィルム</td> <td>・SF</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>品質は、JIS A 5759による。</p> <p>○改修範囲</p> <p>既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 [6. 1. 3] ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ○壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ○図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ○図示による</p> <p>○既存床の撤去及び下地補修</p> <p>ビニル床シート等の除去 [6. 2. 2] ○仕上材のみ (接着剤とも) ・下地モルタルとも (・図示による ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目貫し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り 改修後の床の清掃範囲 ※図示による ○改修箇所の室内 ○その他仕上表に指示された室</p> <p>○既存壁の撤去及び下地補修</p> <p>間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [6. 3. 2] ○改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (全塗厚が25mmを超える場合の処理 ※図示による)</p>	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	アルミニウム製	○シーリング材 ・グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・図示による	鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による	ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による	樹脂製	・グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・図示による	種類	記号		その他性能等	内貼り用	外貼り用	・日射調整フィルム [G]	・SC-1	・SC-2		・低放射フィルム	・LE			○衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	○G1-1	・G1-2		・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1		・ガラス貫通防止フィルム	・SF			<p>・ 施工一般</p> <p>[6. 5. 2]</p> <p>○ 接着剤</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 [6. 5. 3, 4] ※F☆☆☆☆</p> <p>○ 軽量鉄骨天井下地</p> <p>[6. 6. 2~4]</p> <p>野縁等の種類 屋外 ※25形 ・19形 屋内 ※19形 ・25形 屋外の形式及び寸法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示による ○φ900 周辺部の種からの間隔 ・図示による ○100 野縁の間隔 ・図示による ○φ300 既存の埋込みインサート ○使用する ・使用しない あと施工アンカーの確認試験 ・行う 試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・ ( )箇所 確認強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/m<sup>2</sup>以内の天井の場合は400N程度 ・ ( )N</p> <p>○行わない 補強方法等 ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 (補強方法 ※図示による ) ・天井のふところが3.0mを超える場合 (補強方法 ※図示による ) ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 (補強箇所 ※図示による ) (補強方法 ※図示による ) 耐震性能</p> <p>○ 軽量鉄骨壁下地</p> <p>[6. 7. 3, 4] [表6. 7. 1]</p> <p>スタッド、ランナの種類 ※改修標準仕様書表6.7.11によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示による</p> <p>スタッドの高さが5.0mを超える場合 ※図示による 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※改修標準仕様書6.7.4(5)による</p> <p>○ ビニル床シート [G]</p> <p>[6. 8. 2, 3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td>○無地 ・マーブル柄 ・柄物</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法</p> <p>[6. 8. 2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・TT (単層ビニル床シート)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○FT (複層ビニル床シート)</td> <td>・無地 ○柄物 (木目)</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>・2.0 ・2.5 ○3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※KT (複層ビニル床シート)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・300×300 ・450×450</td> <td>※2.0 ・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOA (置敷きビニル床シート)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・500×500</td> <td>・4.0 ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・FOB (薄型置敷きビニル床シート)</td> <td>・無地 ・柄物</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 特殊機能床材</p> <p>[6. 8. 2]</p> <p>・帯電防止床シート 種類 ( ) 性能 ( ) 厚さ (mm) ( )</p> <p>・帯電防止床タイル 種類 ( ) 性能 ( ) 寸法 (mm) ( ) × ( ) 厚さ (mm) ( )</p> <p>・視覚障害者用床タイル 視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。 種類 ( ) 形状 ( )</p> <p>・耐動荷重性床シート 種類 ( ) 厚さ (mm) ( )</p> <p>○防滑性床シート 種類 ( FS ) (硬質骨材練り込み特殊防滑シート) 厚さ (mm) ( 2.0 mm)</p> <p>・防滑性床タイル 種類 ( ) 寸法 (mm) ( ) × ( ) 厚さ (mm) ( )</p> <p>・耐薬品ビニル床シート 種類 ( FS ) 厚さ ( 2.0 mm)</p>	種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考	※FS (複層ビニル床シート)	○無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0		種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考	・TT (単層ビニル床シート)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・		○FT (複層ビニル床シート)	・無地 ○柄物 (木目)	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ○3.0		※KT (複層ビニル床シート)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0		・FOA (置敷きビニル床シート)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0 ・		・FOB (薄型置敷きビニル床シート)	・無地 ・柄物	・	・		<p>○ ビニル幅木</p> <p>材質の種類 [6. 8. 2] ○軟質 ・硬質 高さ (mm) ○60 ・75 ・100 厚さ (mm) ※1.5以上</p> <p>・ ゴム床タイル</p> <p>[6. 8. 2]</p> <p>種類 ・単層品 ・積層品 色柄 ( ) 厚さ (mm) ・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0 寸法 (mm) ( ) × ( )</p> <p>○ カーペット敷き [G]</p> <p>[6. 9. 2, 3] [表6. 9. 1]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">織り方</th> <th>バイル形状</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ウィルトンカーペット</td> <td>・カットバイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ダブルフェースカーペット</td> <td>・ループバイル</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・アキスミンスターカーペット</td> <td>・カット/ループバイル</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>色柄 ※模様のない無地 バイル系の縦縫種等 ※無地の織りじゅうたんの種別 (・A種 ・B種 ・C種)</p> <p>・帯電性 ・適用する ・適用しない 織りじゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 ・つづり縫い</p> <p>下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種1号 呼び厚さ 8mm</p> <p>・タフテッドカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バィル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・5~7</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループバイル</td> <td>・4~6</td> <td>・全面接着工法</td> <td>・適用する</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・</td> <td>・グリッパ-工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>下敷き材 (グリッパ-工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm</p> <p>・タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>○ タイルカーペット</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>バイルの形状</th> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>総厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※ループバイル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td>仕上表による</td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットバイル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ・市松敷き ・模様流し</p> <p>階段部分 ※模様流し ・市松敷き</p> <p>見切り、押え金物 材質 (ステンレス) 種類 ( ) 形状等 ※図示による</p> <p>○ 合成樹脂塗床</p> <p>[6. 10. 2, 3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・厚膜型塗床材 弾性かつ樹脂系塗床</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 非弾性樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂材料工法</td> <td>・平滑仕上げ ・防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> </tbody> </table> <p>塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>○ 無機系塗床</p> <p>○無機系遠硬性薄層ペストデザイン床 種類 ( 軟付タイプ ) 工法 ( 後付工法 ) 厚さ (mm) ( 1~2 mm程度)</p>	織り方		バイル形状	・ウィルトンカーペット	・カットバイル		・ダブルフェースカーペット	・ループバイル		・アキスミンスターカーペット	・カット/ループバイル		バイル形状	バィル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・カットバイル	・5~7	・	・		・ループバイル	・4~6	・全面接着工法	・適用する		・カット、ループ併用	・	・グリッパ-工法	・適用しない		バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考	※ループバイル	※第一種 ・第二種	仕上表による	※500×500	※6.5		・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		種別	施工箇所	工法	仕上げの種類	・厚膜型塗床材 弾性かつ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 非弾性樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂材料工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ	・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ	<p>Project No. 2024_DCS23-NGOKLI Scale N. S. SHIBATA Architect and Associates 株式会社 シバタ建築設計事務所 〒1408121 東京都目黒区青丘1-3-0 TEL. 0766(88)1177 / FAX. 0766(88)1321 管理建築士 第 21408121001014 号 一級建築士 大臣登録 第 344849 号 https://shibata-and-associates.com/</p> <p>Client 国立大学法人長岡技術科学大学 施設課 長岡技術科学大学 (上富岡町) 附属図書館 (I期) 改修工事 Drawing Name. 長岡技術科学大学 (上富岡町) 附属図書館改修実施設計業務 (建築・設備) 改修特記仕様書 (4)</p> <p>Drawer 一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩 Drawing No. 特A-04</p>
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																																																																											
アルミニウム製	○シーリング材 ・グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																																											
鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																																											
ステンレス製	・シーリング材	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																																											
樹脂製	・グレイジングガスケット	※建具の製造所の仕様による ・図示による																																																																																																																																																											
種類	記号		その他性能等																																																																																																																																																										
	内貼り用	外貼り用																																																																																																																																																											
・日射調整フィルム [G]	・SC-1	・SC-2																																																																																																																																																											
・低放射フィルム	・LE																																																																																																																																																												
○衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	○G1-1	・G1-2																																																																																																																																																											
・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・GD-1	・GD-1																																																																																																																																																											
・ガラス貫通防止フィルム	・SF																																																																																																																																																												
種類の記号	色柄	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																										
※FS (複層ビニル床シート)	○無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0																																																																																																																																																											
種類の記号	色柄	寸法 (mm)	厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																									
・TT (単層ビニル床シート)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・2.0 ・																																																																																																																																																										
○FT (複層ビニル床シート)	・無地 ○柄物 (木目)	・300×300 ・450×450	・2.0 ・2.5 ○3.0																																																																																																																																																										
※KT (複層ビニル床シート)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	※2.0 ・3.0																																																																																																																																																										
・FOA (置敷きビニル床シート)	・無地 ・柄物	・500×500	・4.0 ・																																																																																																																																																										
・FOB (薄型置敷きビニル床シート)	・無地 ・柄物	・	・																																																																																																																																																										
織り方		バイル形状																																																																																																																																																											
・ウィルトンカーペット	・カットバイル																																																																																																																																																												
・ダブルフェースカーペット	・ループバイル																																																																																																																																																												
・アキスミンスターカーペット	・カット/ループバイル																																																																																																																																																												
バイル形状	バィル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																									
・カットバイル	・5~7	・	・																																																																																																																																																										
・ループバイル	・4~6	・全面接着工法	・適用する																																																																																																																																																										
・カット、ループ併用	・	・グリッパ-工法	・適用しない																																																																																																																																																										
バイルの形状	種類	施工箇所	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備考																																																																																																																																																								
※ループバイル	※第一種 ・第二種	仕上表による	※500×500	※6.5																																																																																																																																																									
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																									
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																									
種別	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																																																																																																																										
・厚膜型塗床材 弾性かつ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																																																																										
・厚膜型塗床材 非弾性樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂材料工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ																																																																																																																																																										
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ																																																																																																																																																										

工事概要		建物概要		一般事項																																																																																																																									
工 事 名 称	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(1期)改修工事	用 途	大学(図書館)	防火上主要な間仕切壁 (以下、防火間仕切壁)	LGS65・100 強化石膏ボード t 12.5+12.5(両面)二重張 【1時間耐火 耐火構造認定番号 FP060NP-0174】																																																																																																																								
工 事 場 所	長岡市上富岡町1603-1 (長岡技術科学大学上富岡町地区構内)	階 数	地上3階建て	断 熱 材	居室部分の外壁内面、1階床スラブ下:現場発泡硬質ウレタン(A種1H)吹付 t 25																																																																																																																								
工 事 種 別	模様替え	構 造	鉄筋コンクリート造	界 壁 遮 音 材	居室間界壁の間仕切り壁:可動間仕切壁(遮音タイプ) t 70																																																																																																																								
用 途 地 域	第一種中高層住居専用地域	耐 火 区 分	耐火建築物	アスベストに関する特記																																																																																																																									
防 火 地 域	指定なし	高 さ	建築物の高さ 12.800m 建築物の軒高 9.490m	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">&lt;石綿含有分析調査結果一覧表&gt;</th> <th colspan="6">アスベスト含有建材リスト(仕上塗材)</th> </tr> <tr> <th>部位</th> <th>建 材 名</th> <th>含有の有無</th> <th>部位</th> <th>建 材 名</th> <th>含有の有無</th> <th>部位</th> <th>仕 上</th> <th>含有の有無</th> <th>レベル</th> <th>除去工法</th> <th>隔離養生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>外壁 仕上塗材 下地調整材</td> <td>無 有</td> <td>8</td> <td>1階書庫 天井</td> <td>パ-ミナライト</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>機械室 ダクトフランジ</td> <td>パッキン材 有</td> <td>9</td> <td>渡り廊下B 外壁</td> <td>仕上塗材 下地調整材</td> <td>無 有</td> <td>内部 壁</td> <td>複層模様吹付</td> <td>有</td> <td>レベル3</td> <td>特記による</td> <td>無</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>配管エルボ</td> <td>水練り保温材 有</td> <td>10</td> <td>渡り廊下B 天井</td> <td>化粧石膏ボード</td> <td>無</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>機械室 ダクト</td> <td>キャンバス継手 有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>2階廊下 内壁</td> <td>仕上塗材 下地調整材 有 有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>2階廊下 内壁</td> <td>ビニル巾木 接着材 有</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>A階段 床</td> <td>ビニル床シート 接着材 無</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										<石綿含有分析調査結果一覧表>				アスベスト含有建材リスト(仕上塗材)						部位	建 材 名	含有の有無	部位	建 材 名	含有の有無	部位	仕 上	含有の有無	レベル	除去工法	隔離養生	1	外壁 仕上塗材 下地調整材	無 有	8	1階書庫 天井	パ-ミナライト	無						2	機械室 ダクトフランジ	パッキン材 有	9	渡り廊下B 外壁	仕上塗材 下地調整材	無 有	内部 壁	複層模様吹付	有	レベル3	特記による	無	3	配管エルボ	水練り保温材 有	10	渡り廊下B 天井	化粧石膏ボード	無							4	機械室 ダクト	キャンバス継手 有											5	2階廊下 内壁	仕上塗材 下地調整材 有 有											6	2階廊下 内壁	ビニル巾木 接着材 有											7	A階段 床	ビニル床シート 接着材 無										
<石綿含有分析調査結果一覧表>				アスベスト含有建材リスト(仕上塗材)																																																																																																																									
部位	建 材 名	含有の有無	部位	建 材 名	含有の有無	部位	仕 上	含有の有無	レベル	除去工法	隔離養生																																																																																																																		
1	外壁 仕上塗材 下地調整材	無 有	8	1階書庫 天井	パ-ミナライト	無																																																																																																																							
2	機械室 ダクトフランジ	パッキン材 有	9	渡り廊下B 外壁	仕上塗材 下地調整材	無 有	内部 壁	複層模様吹付	有	レベル3	特記による	無																																																																																																																	
3	配管エルボ	水練り保温材 有	10	渡り廊下B 天井	化粧石膏ボード	無																																																																																																																							
4	機械室 ダクト	キャンバス継手 有																																																																																																																											
5	2階廊下 内壁	仕上塗材 下地調整材 有 有																																																																																																																											
6	2階廊下 内壁	ビニル巾木 接着材 有																																																																																																																											
7	A階段 床	ビニル床シート 接着材 無																																																																																																																											
その他の地域等	指定なし、法第22条区域、下水道処理区域	便 所	なし																																																																																																																										
工 期	令和7年 <sup>8</sup> 4月 <sup>8</sup> ~ 令和8年3月(予定)																																																																																																																												
敷 地 面 積	258,982.23㎡																																																																																																																												
建 築 面 積	1,254.66㎡																																																																																																																												
延 べ 床 面 積	3,147.09㎡																																																																																																																												
工 事 範 囲	本工事建物は地上3階建てである。そのうち1、2階部分(一部を除き)を1期工事、3、R階部分(一部を除き)を2期工事としており、本工事はその1期工事である。																																																																																																																												

共通事項											
用語の説明	「既存」とは、既存のままとすること。 「撤去」とは、既存物を壊し取ること。 「撤去・新設」とは、 既存物を撤去し、新たなものを設置すること。 「取外し」とは、再使用を考慮して、丁寧に外すこと。 「取外し・再取付け」とは、 既存物を取外し、同じものを取付けること。	新設・改修共通	7. 床のビニル床シートは溶接工法とする 8. 壁下地のLGSは天井裏(上階スラブ下)まで設けるものとする 9. 壁ボード類は遮音間仕切壁や防火区画壁・防火上主要な間仕切壁を除き、天井面にて止めるものとする 10. 柱型、梁型の仕上は壁仕上に準ずる 11. 塗装下地ボードの施工は継目処理工法とする 12. 化粧ケイカル板・化粧フレキシブル板はジョイナー目地とする 13. 化粧ケイカル板のサッシ取合部目地幅は3mmシールとする。 14. 使用内装材料はすべてF☆☆☆☆(規制対象外)とする 15. 防湿防水シート端部はブチルテープにて処理する 16. 各種ライニング、カウンター、手摺、化粧鏡等の高さは、現場にて再度施工確認の上決定とする 17. 手洗い、手摺、小便器等が設置される壁面には下地を見込むこと 18. 衛生器具、家具と内装仕上の取合部はシーリング打ちとする	新設・改修共通	19. 天井中心線は天井総合図を作成の上、決定のこと 20. 天井内ものは全て不燃材料とする 21. 設計図に記載のメーカーは全て参考であり、同等以上を確保すること 22. 建築する上で、必要な仮設計画は全て見込むこと。 23. 例年積雪量、耐風圧を考慮して笠木の強度その他を選定すること。 24. 防水の納まりは十分検討すること。 25. 建物用途上、安全性を高めることを前提とし、出隅部は必ずR面取りを施すこと。(見切縁共) 26. 諸官庁の申請手続きは、全て請負業者の責任において行うこと。	外壁躯体補修	※参考数量は次の通りとする 1. 外壁(根廻り、軒裏、柱型・梁型等を含む。)はひび割れ部、欠損部、鉄筋露出部の躯体補修を行うこと。 2. ひび割れ部改修はウカットシール材充填工法とし、設計数量は【0.14㎡/㎡】を参考数量とする。 3. 欠損部改修は充填工法(200x200)とし、設計数量は【0.02ヶ所/㎡】を参考数量とする。 4. 鉄筋露出部改修はアルカリ付与の上、樹脂モルタル充填工法とし、設計数量は【0.04ヶ所/㎡】を参考数量とする。 5. 塗装の剥がれ、浮きはアカービソング®部分球®樹脂注入工法とし、設計数量は【0.012㎡/㎡】を参考数量とする。 6. 施工に先立ち数量調査を行い、上記設計数量との相違・増減を含め、監督職員と協議の上施工すること。 7. 補修部分は既存仕上材(下地調整材共)を除去(W100程度)し、撤去部、削孔部共に適切に湿潤し、集塵装置付きディスクグラインダー工法にて除去すること。除去したものはアスベスト含有材として適切に処理すること。 8. 仕上が欠落した部分には新たにC-2にて段差解消を行なうこと。	内壁躯体補修	1. 内壁コンクリート壁(床、柱型・梁型等を含む。)のうち、仕上げとして現れる部分についてはひび割れ部の躯体補修を行うこと。 2. あと施工アンカー打設の際は、集塵機付きハンマードリルを使用し、既存吹付材に含有の石綿が飛散しないよう充分注意すること 3. 建具撤去部分(建具周囲W100程度)のアスベスト除去を見込むこと。	改修	<特記なき限り下記による> 1. 既存床材の撤去はクレーン、ディスクサンダー等により、新規仕上げの施工に支障のないよう除去する。 2. 建具周囲、電気設備、機械設備等改修に伴う補修及び破損箇所、特記のない場合は原則として既存仕上にて補修する。廻り縁、巾木等も必要に応じ撤去復旧とする。 3. 建具枠等撤去に伴う箇所は、周囲モルタルカッター入れとし、特記のない場合は原則として新規仕上にて補修する。 4. 鉄部及び木部の下地処理は特記なき限りR処理とする。 鉄部は下地調整後、錆止め塗料塗りをすること。

Notices	Client	Project No.	Scale	SHIBATA Architect and Associates	株式会社 シバタ建築設計事務所 富山県小矢部市泉町7-3-0 TEL. 0766(68)1177 / FAX. 0766(68)1321 https://shibata-and-associates.com/	Drawer	Drawing No.
	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	2024_DCS23-NGOKLI	N. S.			一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩	A-01
	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館改修実施設計業務(建築・設備)	Drawing Name.	Date			Drawer	
		工事概要	2025.06			管理建築士 第21408121601014号 一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩	

■ 外部仕上表

位置	部位	仕上	位置	部位	仕上
屋根1 屋根2	改修前	塩ビシート防水 t2.0 S-M2 (2回目) (立上り共)	渡り廊下 (A) (アスベスト含有)	屋根	塩ビシート防水 t2.0 S-M2 (立上り共)、シート防水下地改修用塩ビドレン 縦型
		ソーラーパネル架台天端:ウレタン塗膜防水 X-2 ソーラーパネルメンテナンス通路部分:防漏塩ビ床シートt=2.5上張り		外壁	軽量鉄骨下地 フレキシブルボード (t6) 複層模様吹付
屋根3~5	改修後	既存のまま	改修前	軒天井	軽量鉄骨天井下地 フレキシブルボード (t6) 目透し張 AEP
		塩ビシート防水 t2.0 S-M2 (1回目) (立上り共)		縦樋	内部:配管用炭素鋼鋼管(白) 呼び方(A) 100 FE 外部:配管用炭素鋼鋼管(白) 呼び方(A) 80 FE
バラベツ笠木	改修前	塩ビシート防水 t2.0 S-M2	改修後	屋根	既存塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水 t2.0 水洗い 平場:塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水 t2.0 S4S工法 S1-M2 機械的固定工法(2回目施工) 断熱工法(断熱材 t30) 立上り:塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水 t2.0 S4S工法 S-M2 機械的固定工法(2回目施工)
		既存のまま		ルーフトレン	改修用(縦型)75φ用 2箇所
ルーフトレイン	改修前	シート防水下地改修用塩ビドレン 縦型(呼び径:100、80) シート防水下地改修用塩ビドレン 横型(呼び径:80)	改修後	外壁	既存フレキシブルボード(t6)(張替え)複層塗材E(アクリル系)吹付 ※除去したものはアスベスト含有材として適切に処理すること。 既存建具周囲シーリングやり替え MS-2 15×10、既存EXP.J廻り シーリング改修
		既存のまま		軒天井	軽量鉄骨天井下地 フレキシブルボード (t6) 目透し張(張替え) AEP ※除去したものはアスベスト含有材として適切に処理すること。
縦樋	改修前	内部 配管用炭素鋼鋼管(白) 呼び方(A) 100 FE	改修前	縦樋	既存縦樋塗替え 腐食部は撤去のこと ※放水口にコンクリート平板300×300×30を敷設(2箇所)
		外部 配管用炭素鋼鋼管(白) 呼び方(A) 80 FE		屋根	塩ビシート防水 t2.0 S-M2 (立上り共)、シート防水下地改修用塩ビドレン 縦型
改修後	改修前	内部 既存縦樋撤去の上、硬質カラー塩ビ管(VP) 100φ横引き新設(3階天井裏)(Ⅱ期工事:工事対象外)	改修後	外壁	打増コンクリート(t25)型枠(じか仕上用)複層模様吹付 外壁目地材:既製品(打継用及び化粧用)
		外部 既存縦樋残置の上、硬質カラー塩ビ管(VP) 100φ新設(SUS製掴み金物共) ※最上部に蓋、放水口にコンクリート平板300×300×30を敷設(7箇所) (Ⅰ期工事:1、2階) (Ⅱ期工事:3階)		軒天井	型枠取外しの上砂壁状吹付
外壁・巾木 (アスベスト含有)	改修前	外壁 打増コンクリート(t25)型枠(じか仕上用)複層模様吹付	改修前	縦樋	内部:配管用炭素鋼鋼管(白) 呼び方(A) 100 FE 外部:配管用炭素鋼鋼管(白) 呼び方(A) 80 FE
		目地材 既製品(打継用及び化粧用)		屋根	既存塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水 t2.0 水洗い 平場:塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水 t2.0 S4S工法 S1-M2 機械的固定工法(2回目施工) 断熱工法(断熱材 t30) 立上り:塩化ビニル樹脂系ルーフィングシート防水 t2.0 S4S工法 S-M2 機械的固定工法(2回目施工)
改修後	改修前	外壁 新設(Y11通り):既存外壁撤去の上、押出成形セメント板(t60)素地ごしらえB種 複層塗材E(アクリル系)吹付	改修後	外壁・柱型	<del>高圧水洗工法(30Mpa以上)の上、下地調整材C-1 複層塗材E(アクリル系)吹付</del> ※補修部は左記外壁1の仕様による 既存のまま
		外壁 新設(Y6通り):打増コンクリート(t25)下地調整材C-1 複層塗材E(アクリル系)吹付		ルーフトレン	改修用(縦型)75φ用 5箇所
改修後	改修前	外壁 既存:高圧水洗工法(30Mpa以上)の上、下地調整材C-1 複層塗材E(アクリル系)吹付	改修後	外壁・柱型	<del>高圧水洗工法(30Mpa以上)の上、下地調整材C-1 複層塗材E(アクリル系)吹付</del> ※補修部は左記外壁1の仕様による
		目地材 打継目地 やり替え MS-2 20×10		軒天井	高圧水洗工法(30Mpa以上)の上、下地調整材C-1 複層塗材E(アクリル系)吹付 ※補修部は左記外壁1の仕様による
改修後	改修前	ひび割れ補修 ひび割れ:リカットシール工法(弾性シーリング) ※事前作業:既存仕上材(下地調整材共)を除去(幅100mm)	改修後	縦樋	既存縦樋塗替え 腐食部は撤去のこと ※放水口にコンクリート平板300×300×30を敷設(3箇所)
		爆裂部及び欠損部 コンクリートの爆裂部及び欠損部:鉄筋錆止め塗装(B種)後、モルタル補修 ※事前作業:既存仕上材(下地調整材共)を除去(幅100mm)		床・段部	モルタル塗 こて仕上
改修後	改修前	撤去部、削孔部 適切に湿潤し、集塵装置付きディスクグラインダー工法にて除去	改修後	ノンスリップ	階段タイル張(磁器質)
		※共通事項 上記改修により仕上が欠落した部分には新たにC-2にて段差解消を行なう ※除去したものはアスベスト含有材として適切に処理すること。		巾木	モルタル塗 こて仕上
改修後	改修前	既存建具周囲シーリングやり替え MS-2 15×10、既存EXP.J廻り シーリング改修	改修後	壁・手摺	打増コンクリート(t25、t10)型枠(じか仕上用)複層模様吹付
		アルミニウム建具、鋼製建具、ステンレス建具		天井・段裏	型枠 砂壁状吹付
改修後	改修前	アルミ製外部建具 既存ガラス撤去の上、複層ガラス取付(※建具表参照) 一部既存建具撤去(研り工法) 新設建具取付(一般工法) ※建具廻りシーリング新設 MS-2 15×10(※建具表参照)	改修後	屋根3	塩ビシート防水 t2.0 S-M2 (1回目) (立上り共)
		鋼製外部建具 既存鋼製ドア:DP塗替え 既存鋼製窓:既存建具撤去(研り工法) 新設アルミ製建具取付(一般工法) ※建具廻りシーリング新設 MS-2 15×10(※建具表参照)		床・段部	高圧水洗工法(30Mpa以上)
改修後	改修前	※共通事項 既存ステンレスドア:既存のまま 既存建具廻り仕上げ撤去部(下地調整材アスベスト含有):除去したものはアスベスト含有材として適切に処理すること。	改修後	ノンスリップ	既存のまま 欠損部補修(磁器質タイル張)
		床 モルタル壁下地 タイル張(せっき質)(段部も床に同じ)		巾木	高圧水洗工法(30Mpa以上)
改修後	改修前	外壁・柱型 打増コンクリート(t25、40、45)型枠(じか仕上用)複層模様吹付	改修後	壁・手摺	高圧水洗工法(30Mpa以上)の上、下地調整材C-1 複層塗材E(アクリル系)吹付 ※補修部は左記外壁1の仕様による
		外壁2 タイル張(陶板 改良圧着張工法)		天井・段裏	高圧水洗工法(30Mpa以上)の上、下地調整材C-1 複層塗材E(アクリル系)吹付 ※補修部は左記外壁1の仕様による
改修後	改修前	天井 発泡断熱材(t25)打込(2階スラブ下) 軽量鉄骨天井下地 外部用耐湿ロックウール化粧吸音板	改修後	屋根3	既存のまま
		床 カチオン系下地調整材塗り 1.0mm程度の上、無機系速硬化性薄塗ペーストデザイン床(新設)		床・側溝	防水モルタル こて仕上
改修後	改修前	外壁・柱型 高圧水洗工法(30Mpa以上)の上、下地調整材C-1 複層塗材E(アクリル系)吹付 ※補修部は上記外壁1の仕様による	改修後	床立上部	防水モルタル こて仕上
		外壁2 高圧水洗工法(30Mpa以上)		壁	打増コンクリート(t30)型枠(じか仕上用)複層模様吹付
改修後	改修前	天井 既存仕上げ材撤去の上、外部用耐湿ロックウール化粧吸音板 t12(平板)張替え	改修後	天井	3階部分:軽量鉄骨天井下地 フレキシブルボード(t6)目透し張 AEP 2階部分:型枠取外しの上砂壁状吹付
		床 モルタル壁下地 タイル張(せっき質)(スロープ面は床に同じ)		床・側溝	高圧水洗工法(30Mpa以上)
改修後	改修前	外壁 打増コンクリート(t25、45)型枠(じか仕上用)複層模様吹付	改修後	床立上部	高圧水洗工法(30Mpa以上)
		天井 発泡断熱材(t25)打込(2階スラブ下) 軽量鉄骨天井下地 外部用耐湿ロックウール化粧吸音板		壁	高圧水洗工法(30Mpa以上)の上、下地調整材C-1 複層塗材E(アクリル系)吹付 ※補修部は左記外壁1の仕様による
改修後	改修前	足洗場 腰壁:打増コンクリート(T=25)型枠(じか仕上用)複層模様吹付 脚:防水モルタル塗こて仕上 グレーチング:鋼製	改修後	天井	3階部分:軽量鉄骨天井下地 フレキシブルボード(t6)目透し張(張替え) AEP 2階部分:高圧水洗工法(30Mpa以上)の上、下地調整材C-1 複層塗材E(アクリル系)吹付 ※補修部は左記外壁1の仕様による
		床 既存のまま		花壇	改修前改修後 擁壁及び笠木:タイル張(せっき質、圧着張) 解体復旧部:タイル張(せっき質、既存合わせ)
改修後	改修前	外壁 高圧水洗工法(30Mpa以上)の上、下地調整材C-1 複層塗材E(アクリル系)吹付 ※補修部は上記外壁1の仕様による	改修後	その他	既存ステンレス手摺撤去の上、ステンレス手摺 34φ H850 新設
		天井 既存仕上げ材撤去の上、外部用耐湿ロックウール化粧吸音板 t12(平板)張替え			
改修後	改修前	足洗場 腰壁:既存のまま 脚:既存のまま グレーチング:既存のまま			

Notices	Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(Ⅰ期)改修工事	Project No.	2024_DCS23-NGOKLI	Scale	N. S.	SHIBATA Architect and Associates	株式会社 シバタ建築設計事務所 富山県小矢部市泉町7-30 TEL. 0766(88)1177 / FAX. 0766(88)1321 https://shibata-and-associates.com/	Drawer	一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩	Drawing No.	A-05
		長岡技術科学大学(上富岡町) 附属図書館改修実施設計業務(建築・設備)	Drawing Name.	外部仕上表	File Name.	Date	2025.06			管理建築士 第21408121601014号 一級建築士 大臣登録 第344849号 柴田 昭浩			



■ 内部仕上表

階	区分	室名	床		巾木・(腰壁)		壁		柱型		天井		梁型		備考									
			下地	仕上	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	廻り縁	天井高	下地	仕上	面材	ガラス	取付板	BOX	その他	
2階	改修前	地域共創室事務室	コンクリート鏡仕上	タイルカーペット敷 (撤去)	ビニル巾木 (撤去)	60	コンクリート打放	複層仕上塗り	コンクリート打放	複層仕上塗り	LGS+GB-R t9 (撤去)	ロックウール吸音板 t12 (撤去)	塩ビ製 (撤去)	2500	—	—	○ (撤去)	○ (撤去)						
	改修前	会議室	コンクリート鏡仕上	タイルカーペット敷 (撤去)	木製巾木OSCL (撤去)	60	LGS+GB-R t9+12 (撤去)	木目シート張り (撤去)	LGS+GB-R t9+12 (撤去)	木目シート張り (撤去)	LGS+GB-R t9 (撤去)	リブ付ロックウール吸音板 t12 (撤去)	塩ビ製 (撤去)	2600	—	—	○ (撤去)	○ (撤去)						
	改修前	URA執務室	コンクリート鏡仕上	タイルカーペット敷 (撤去)	木製巾木OSCL (撤去)	60	LGS+GB-R t9+12 (撤去)	木目シート張り (撤去)	LGS+GB-R t9+12 (撤去)	木目シート張り (撤去)	LGS+GB-R t9 (撤去)	リブ付ロックウール吸音板 t12 (撤去)	塩ビ製 (撤去)	2600	—	—	○ (撤去)	○ (撤去)						
	改修前	総合情報課事務室	コンクリート鏡仕上	ビニル床タイル貼り (撤去)	ビニル巾木 (撤去)	60	コンクリート打放	複層仕上塗り	コンクリート打放	複層仕上塗り	LGS+GB-R t9 (撤去)	ロックウール吸音板 t12 (撤去)	塩ビ製 (撤去)	2400	—	—	○ (撤去)	○ (撤去)						
	改修後	ラーニング commons グループ閲覧室 1、2	コンクリート鏡仕上	タイルカーペット張り t6.5 (新設) (ミックス パターン張り)	ビニル巾木 (撤去)	60	コンクリート打放 (既存) LGS+GB-R t12.5 (新設)	EP-G塗替え 内部用複層塗材Si吹付	コンクリート打放 (既存) LGS+GB-R t12.5+12.5 (新設)	EP-G塗替え 内部用複層塗材Si吹付	LGS下地 (新設)	化粧吸音ボード t9.5張り (不燃) (新設)	塩ビ製 (新設)	2600	—	—			⊖ (新設)				ガラスパーティション (新設) カウンター (新設) (コンセント用配線結込)	
	改修前	廊下	コンクリート鏡仕上	ビニル床シート貼り (撤去)	ビニル巾木 (撤去)	60	コンクリート打放	複層仕上塗り	コンクリート打放	複層仕上塗り タイル張り (陶板)	LGS+GB-R t9 (撤去)	ロックウール吸音板 t12 (一部撤去)	塩ビ製 (撤去)	2600	—	—								
	改修後	廊下	既存のまま	不陸調整の上、 複層ビニル床シート貼り t2.0 (ブレン) (新設)	ビニル巾木 (新設)	60	コンクリート打放 (既存) コンクリート打放 (新設) LGS+GB-R t12.5+12.5 (新設)	EP-G塗替え 内部用複層塗材Si吹付	コンクリート打放 (既存) コンクリート打放 (新設) LGS+GB-R t12.5+12.5 (新設)	EP-G塗替え 内部用複層塗材Si吹付	LGS下地 (新設)	化粧吸音ボード t9.5張り (不燃) (新設)	塩ビ製 (新設)	2600	—	—			⊖ (新設)	⊖ (塗替)				
	改修前	ホール	コンクリート鏡仕上	タイルカーペット敷 (撤去)	ビニル巾木 (撤去)	60	コンクリート打放 コンクリート打放	複層仕上塗り タイル張り (陶板)	コンクリート打放 コンクリート打放	複層仕上塗り タイル張り (陶板)	LGS+GB-R t9 (撤去)	ロックウール吸音板 t12 (撤去)	塩ビ製 (撤去)	2600	—	—	○ (撤去)							
	改修前	図書雑誌コーナー	コンクリート鏡仕上	タイルカーペット敷 (撤去)	ビニル巾木 (撤去)	60	コンクリート打放 LGS+GB-R t9+12	複層仕上塗り	コンクリート打放	複層仕上塗り	LGS+GB-R t9 (撤去)	ロックウール吸音板 t12 (撤去)	塩ビ製 (撤去)	2600	—	—	○ (撤去)	○ (撤去)						
	改修前	AVルーム	乾式二重床	タイルカーペット敷 (撤去)	ビニル巾木 (撤去)	60	コンクリート打放	複層仕上塗り	コンクリート打放	複層仕上塗り	LGS+GB-R t9 (撤去)	ロックウール吸音板 t12 (撤去)	塩ビ製 (撤去)	2500	—	—	○ (撤去)	○ (撤去)						
	改修前	グループ閲覧室	コンクリート鏡仕上	タイルカーペット敷 (撤去)	ビニル巾木 (撤去)	60	LGS+GB-R t9+12 (撤去)	木目シート張り (撤去)	LGS+GB-R t9+12 (撤去)	木目シート張り (撤去)	LGS+GB-R t9 (撤去)	リブ付ロックウール吸音板 t12 (撤去)	塩ビ製 (撤去)	2600	—	—	○ (撤去)	○ (撤去)						
	改修後	ホール	コンクリート鏡仕上	タイルカーペット張り t6.5 (新設)	ビニル巾木 (新設)	60	コンクリート打放 (既存) コンクリート打放 (新設) LGS+GB-R t12.5 (新設)	EP-G塗替え 内部用複層塗材Si吹付	コンクリート打放 (既存) コンクリート打放 (新設) LGS+GB-R t12.5+12.5 (新設)	EP-G塗替え 内部用複層塗材Si吹付	LGS+GB-R t9.5 (新設)	ロックウール吸音板 t12 (新設)	塩ビ製 (新設)	2600	—	—			⊖ (新設)					
	改修後	開架閲覧室 ブラウジングコーナー	コンクリート鏡仕上	タイルカーペット張り t6.5 (新設)	ビニル巾木 (新設)	60	コンクリート打放 (既存) コンクリート打放 (新設) LGS+GB-R t12.5+12.5 (新設)	EP-G塗替え 内部用複層塗材Si吹付	コンクリート打放 (既存) LGS+GB-R t12.5 (新設)	EP-G塗替え 内部用複層塗材Si吹付	LGS+GB-R t9.5 (新設)	ロックウール吸音板 t12 (新設)	塩ビ製 (新設)	2600	—	—			⊖ (新設)					
	改修後	図書館事務室 受付カウンター	乾式二重床 H100	タイルカーペット張り t6.5 (新設)	ビニル巾木 (新設)	60	LGS+GB-R t12.5 (新設) LGS+GB-R t12.5+12.5 (新設)	内部用複層塗材Si吹付 内部用複層塗材Si吹付	コンクリート打放 (既存) LGS+GB-R t12.5+12.5 (新設)	EP-G塗替え 内部用複層塗材Si吹付	LGS+GB-R t9.5 (新設)	ロックウール吸音板 t12 (新設)	塩ビ製 (新設)	2500	—	—			⊖ (新設)					スロープ新設
	改修後	会議室	コンクリート鏡仕上	タイルカーペット張り t6.5 (新設)	ビニル巾木 (新設)	60	LGS+GB-R t12.5 (新設) LGS+GB-R t12.5+12.5 (新設)	内部用複層塗材Si吹付 内部用複層塗材Si吹付	コンクリート打放 (既存) LGS+GB-R t12.5 (新設)	EP-G塗替え 内部用複層塗材Si吹付	LGS+GB-R t9.5 (新設)	ロックウール吸音板 t12 (新設)	塩ビ製 (新設)	2600	—	—			⊖ (新設)					
	改修前	EVホール	コンクリート鏡仕上	タイルカーペット敷 (撤去)	—	—	コンクリート打放 コンクリート打放	複層仕上塗り タイル張り (陶板)	コンクリート打放 コンクリート打放	複層仕上塗り タイル張り (陶板)	LGS+GB-R t9 (撤去)	ロックウール吸音板 t12 (撤去)	塩ビ製 (撤去)	2600	—	—	○ (撤去)							
	改修後	EVホール	既存のまま	タイルカーペット張り t6.5 (新設)	ビニル巾木 (新設)	60	コンクリート打放 (既存) 既存のまま	EP-G塗替え タイル張り (陶板) (既存のまま)	コンクリート打放 (既存) コンクリート打放 (既存)	EP-G塗替え タイル張り (陶板) (既存のまま) EP-G塗替え	LGS+GB-R t9.5 (新設)	ロックウール吸音板 t12 (新設)	塩ビ製 (新設)	2600	—	—								
	改修前	倉庫	コンクリート鏡仕上	防塵塗料塗り	—	—	—	コンクリート打放	—	コンクリート打放	—	コンクリート打放	—	直天 (3845)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	改修後	倉庫	既存のまま	不陸調整の上、 複層ビニル床シート貼り t2.0 (ブレン) (新設)	—	—	—	既存のまま	—	既存のまま	—	既存のまま	—	直天 (3845)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	改修前	渡り廊下(A)	コンクリート鏡仕上	ビニル床タイル貼り (撤去)	ビニル巾木 (撤去)	60	フレキシブルボード t6 目透し張	AEP塗り	—	—	LGS+GB-R t9	EP塗装	塩ビ製	2400	—	—								
改修後	渡り廊下(A)	既存のまま	不陸調整の上、 複層ビニル床シート貼り t2.0 (ブレン) (新設)	ビニル巾木 (新設)	60	既存のまま	EP-G塗替え	—	—	既存のまま	EP塗替え	塩ビ製 (既存)	2400	—	—									
改修前	渡り廊下(B)	コンクリート鏡仕上	ビニル床タイル貼り (撤去)	ビニル巾木 (撤去)	60	コンクリート打放 LGS+GB-R t9+12	複層仕上塗り 複層仕上塗り	コンクリート打放	複層仕上塗り	LGS	GB-D t9.5	塩ビ製	2600	—	—									
改修後	渡り廊下(B)	既存のまま	不陸調整の上、 複層ビニル床シート貼り t2.0 (ブレン) (新設)	ビニル巾木 (新設)	60	既存のまま	EP-G塗替え	既存のまま	EP-G塗替え	既存のまま	既存のまま	塩ビ製 (既存)	2600	—	—									

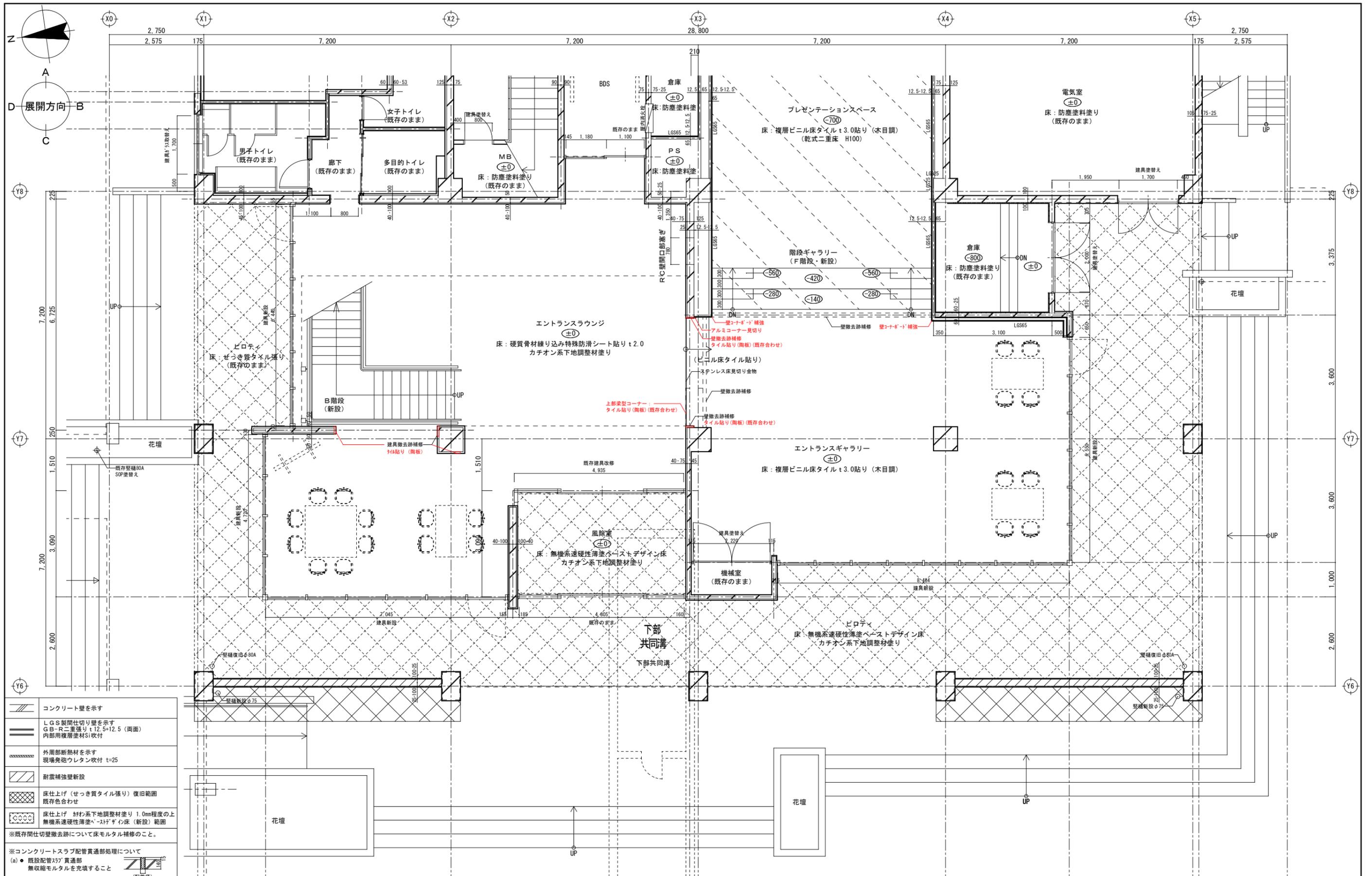
一特記事項  
 ※1. 壁・柱型仕上  
 a. 既存塗装壁 → EP-G塗替え  
 b. 新設石膏ボード壁 → 内部用複層塗材Si 塗装  
 c. 既存天井裏コンクリート躯体壁面 → 内部用複層塗材Si 塗装 (廊下壁面・室内面共)  
 ※2. 天井・梁型仕上  
 d. 既存塗装面 → EP-G塗替え  
 e. 既存天井裏コンクリート躯体面 → 仕上撤去 (LGS下地共)、チリ・埃清掃の上、EP-G塗装

※3. 仕上「既存のまま」部分は内部清掃を行うこと。(他の部分も施工後 内部清掃を行うこと。)  
 ※4. 鉄筋切断部は錆止め塗布とする。  
 ※5. PS、EPSの床仕上はエポキシ系防塵塗料塗りとする。  
 ※6. 設備配管ダクト類撤去後の開口について、既存の配管・配線撤去後の不要となった穴埋め・仕上げ工事は、本工事とする。

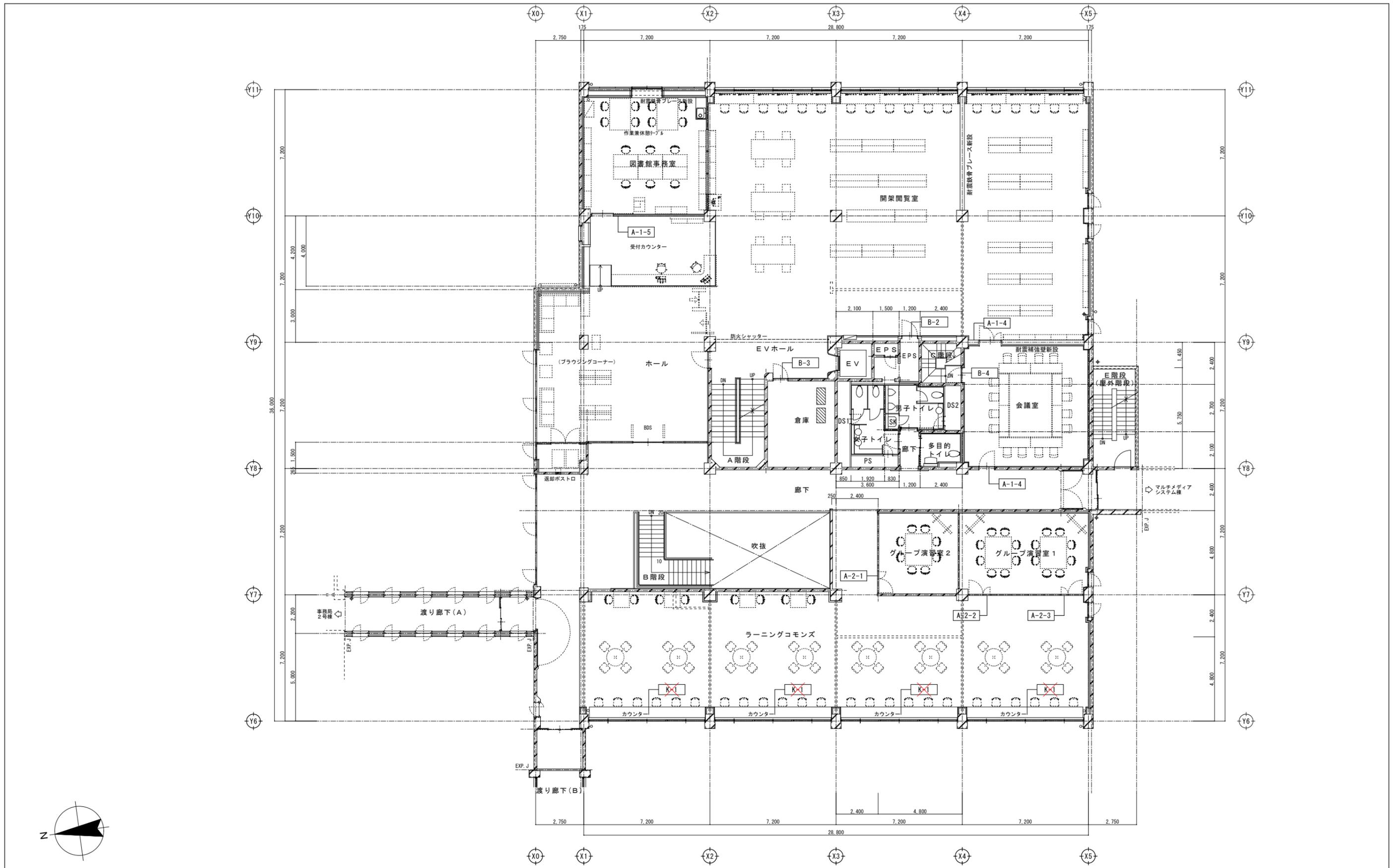
内装制限種別	国土交通省認定防火リスト・不燃材料リスト	材料記号	塗装材料
不共	下地共不燃材 フレキシブル板 t3~ 不燃 NM-8576 化粧吸音せつこうボード t9.5 不燃 NM-0879 NM-4244 (1)	RC 鉄筋コンクリート	SOP 合成樹脂調合ベイント塗 (無鉛品)
不	不燃材 ケイカル板 t4~ 不燃 NM-8578 化粧吸音せつこうボード t9.5 準不燃 QM-9822 木毛セメント板 準不燃 QM-9701	PC ブレキャストコンクリート	FE フタル酸樹脂エナメル塗
準共	下地共準不燃材以上 化粧ケイカル板 (フタ(株)737共同等品) 不燃 NM-4227 NM-4228 NM-4228-1	ALC 軽量気泡コンクリート板	LE ラッカーエナメル塗り
準	準不燃材 ガラス繊維不織布入せつこうボード t5.18 t12.5 不燃 NM-2296 NM-9354	ALC 軽量気泡コンクリート板	EP 合成樹脂エマルジョンベイント塗 (1種)
難	難燃材以上 せつこうボード t9.5 t12.5 準不燃 QM-9828 NM-8619 強化せつこうボード t12.5 不燃 NM-8615 塗料塗装+準不燃材下地 準不燃 QM-9816	ALC 軽量気泡コンクリート板	EP 合成樹脂エマルジョンベイント塗
	化粧せつこうボード t9.5 不燃 QM-0524 NM-1864 岩綿吸音板 t9~ 不燃 NM-8599	ALC 軽量気泡コンクリート板	EP-G つや有合成樹脂エマルジョンベイント塗
	化粧せつこうボード t9.5 (不燃種層せつこうボード) 不燃 NM-1864	ALC 軽量気泡コンクリート板	OS オイルステン塗
	化粧せつこうボード t12.5 不燃 NM-8614	ALC 軽量気泡コンクリート板	VP 塩化ビニルベイント塗
		LS 軽量鉄骨下地 (リッ浦形鋼)	B-2 二次電解着色

Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	Project No.	2024_DCS23-NGOKLI	Scale	N. S.	SHIBATA Architect and Associates	株式会社 シバタ建築設計事務所	一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩	Drawing No.	A-07
Drawing Name.	長岡技術科学大学 (上富岡町) 附属図書館改修実施設計業務 (建築・設備)	File Name.	内部仕上表 2	Date	2025.06		管理建築士 第 21408121601014 号 TEL 0766(80)1177 / FAX 0766(80)1321 一級建築士 大臣登録 第 344849 号 栗田 昭浩 https://shibata-and-associates.com/			



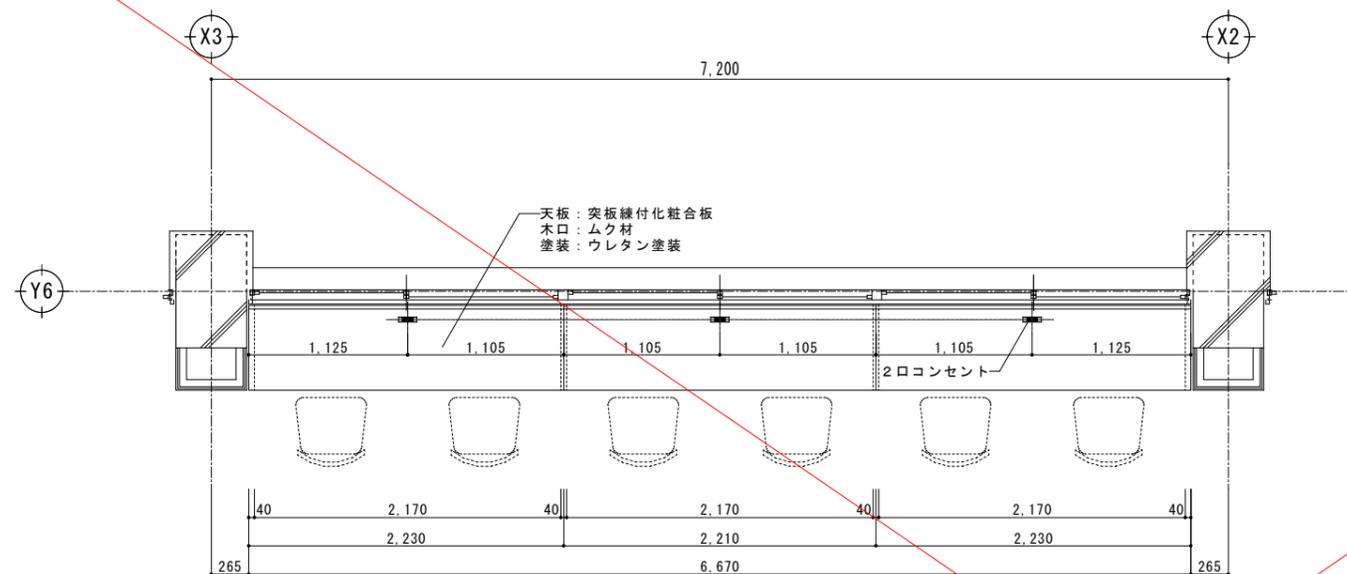


Notices	Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	Project No.	2024_DCS23-NGOKLI	Scale	1/50 (A1) 1/100 (A3)	SHIBATA Architect and Associates	株式会社 シバタ建築設計事務所 〒951-8512 新潟県小千部市泉町7-3-0 TEL. 0766(68)1117 / FAX. 0766(68)1321 管理建築士 第21408121601014号 一級建築士 大臣登録 第344849号 https://shibata-and-associates.com/	Drawer	一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩	Drawing No.	A-45
		長岡技術科学大学 (上富岡町) 附属図書館改修実施設計業務 (建築・設備)	Drawing Name.	1階平面詳細図1 (改修後)	Date	2025.06			Drawer			

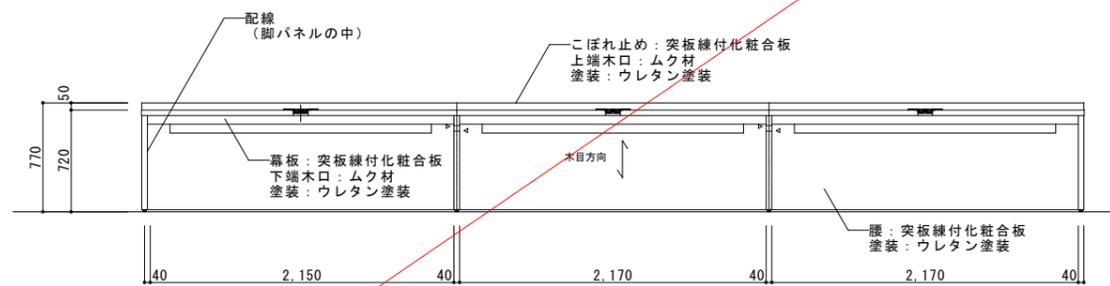


Notices	Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	Project No.	2024_DCS23-NGOKL1	Scale	1/100 (A1) 1/200 (A3)	SHIBATA Architect and Associates	株式会社 シバタ建築設計事務所 新潟県小浜町長岡7-30 TEL. 0766(68)1177 / FAX. 0766(68)1321 管理建築士 第21408121601014号 一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩 https://shibata-and-associates.com/	Drawer	一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩	Drawing No. A-103
	Drawing Name.	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(I期)改修工事 2階家具・サイン工事キープラン	File Name.		Date	2025.06			Drawer		

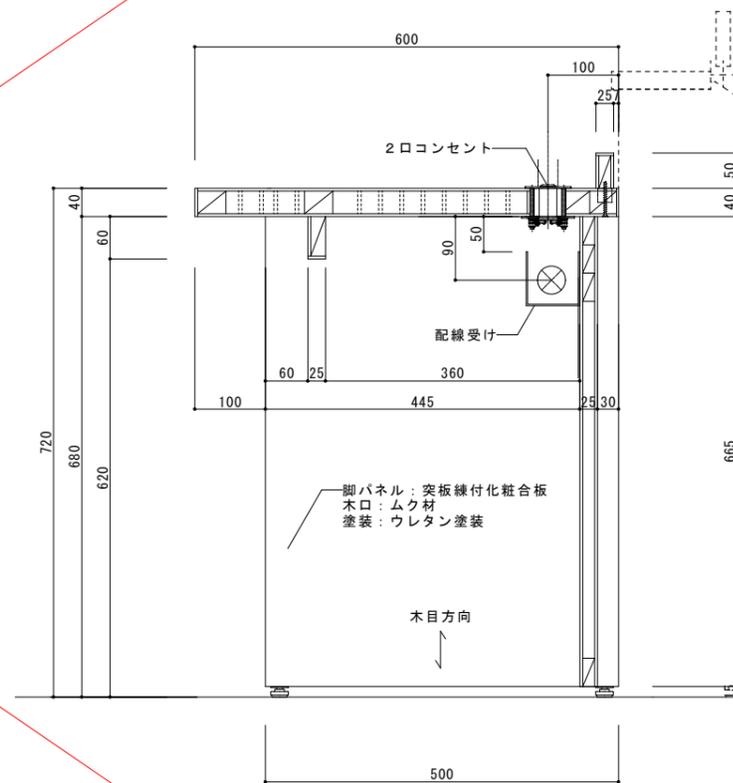
工事対象外



平面図 1/25



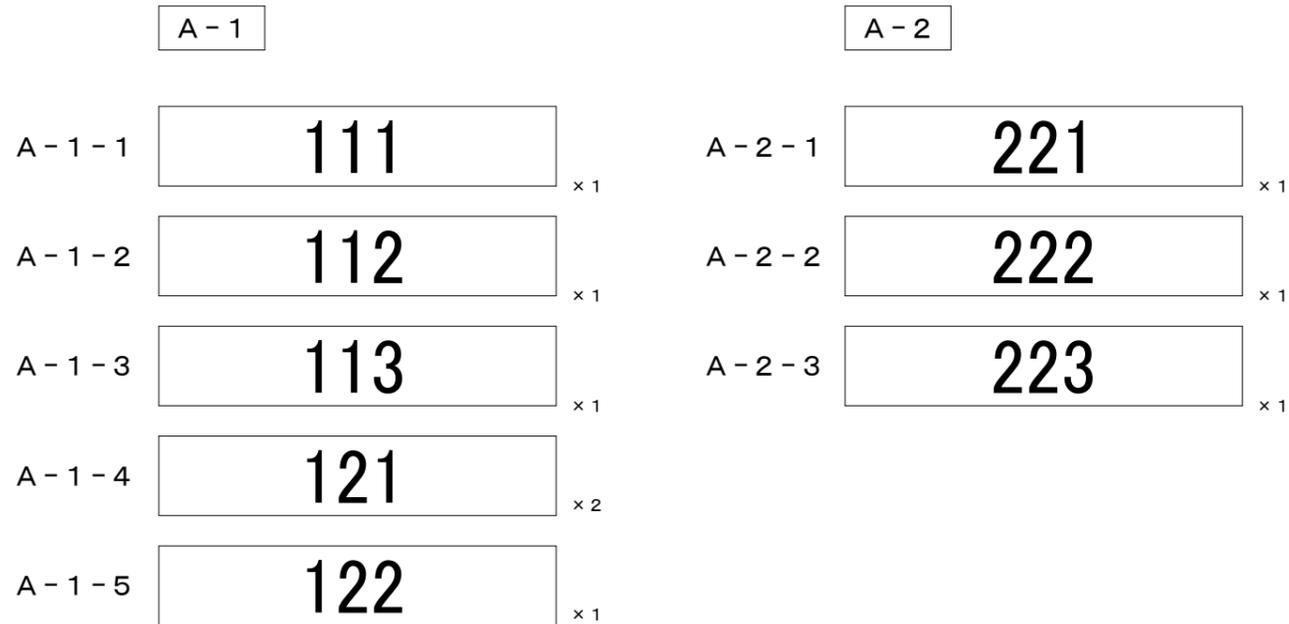
正面図 1/25



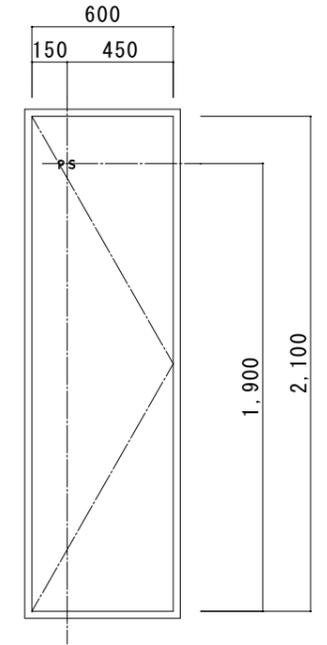
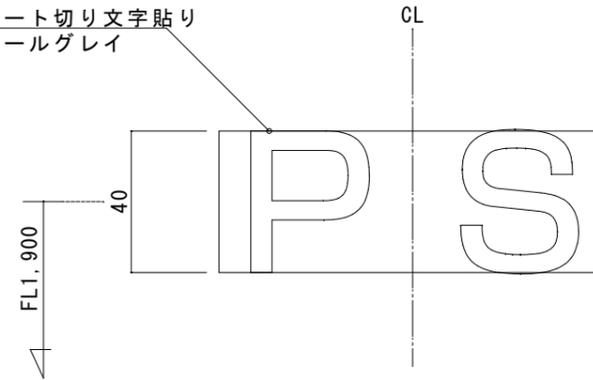
断面図 1/5

Notices	Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	Project No.	2024_DCS23-NGOKLI	Scale	1/5, 1/25 (A1) 1/10, 1/50 (A3)	SHIBATA Architect and Associates	株式会社 シバタ建築設計事務所 〒951-8501 新潟県小浜市泉町7-30 TEL. 0766(88)1177 / FAX. 0766(88)1321 管理建築士 第 21408121601014 号 一級建築士 大臣登録 第 344849 号 https://shibata-and-associates.com/	Drawer	一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩	Drawing No.	A-105
	Drawing Name.	長岡技術科学大学 (上富岡町) 附属図書館 (I 期) 改修工事 附属図書館改修実施設計業務 (建築・設備)	家具工事詳細図	Date	2025.06	Drawer			栗田 昭浩			

5カ所

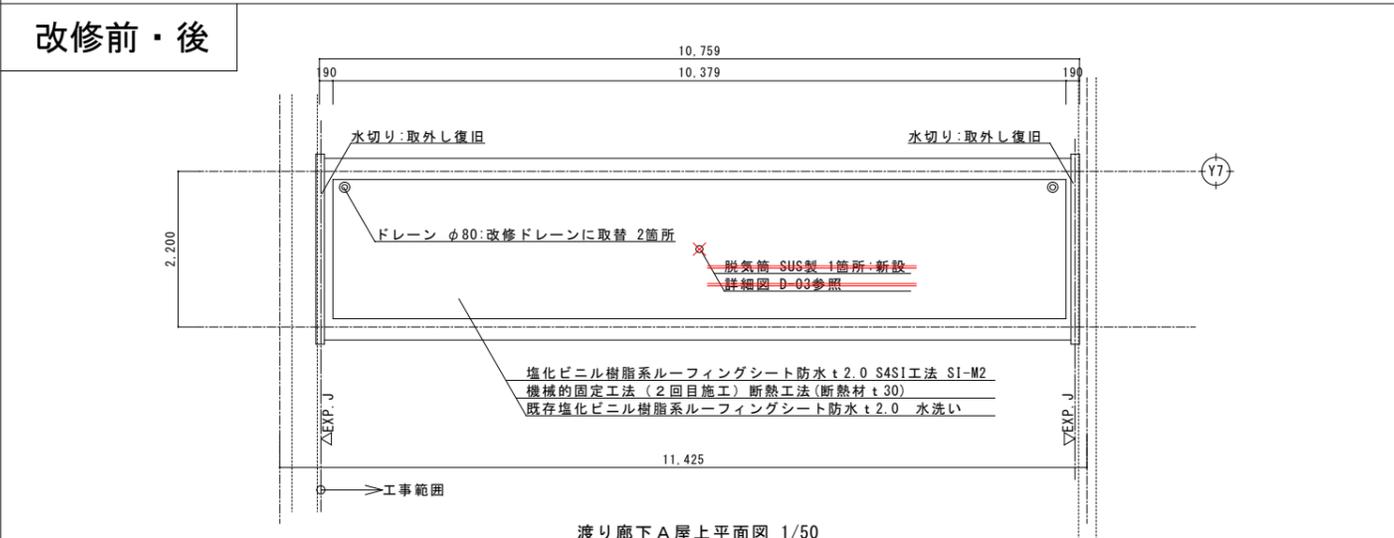
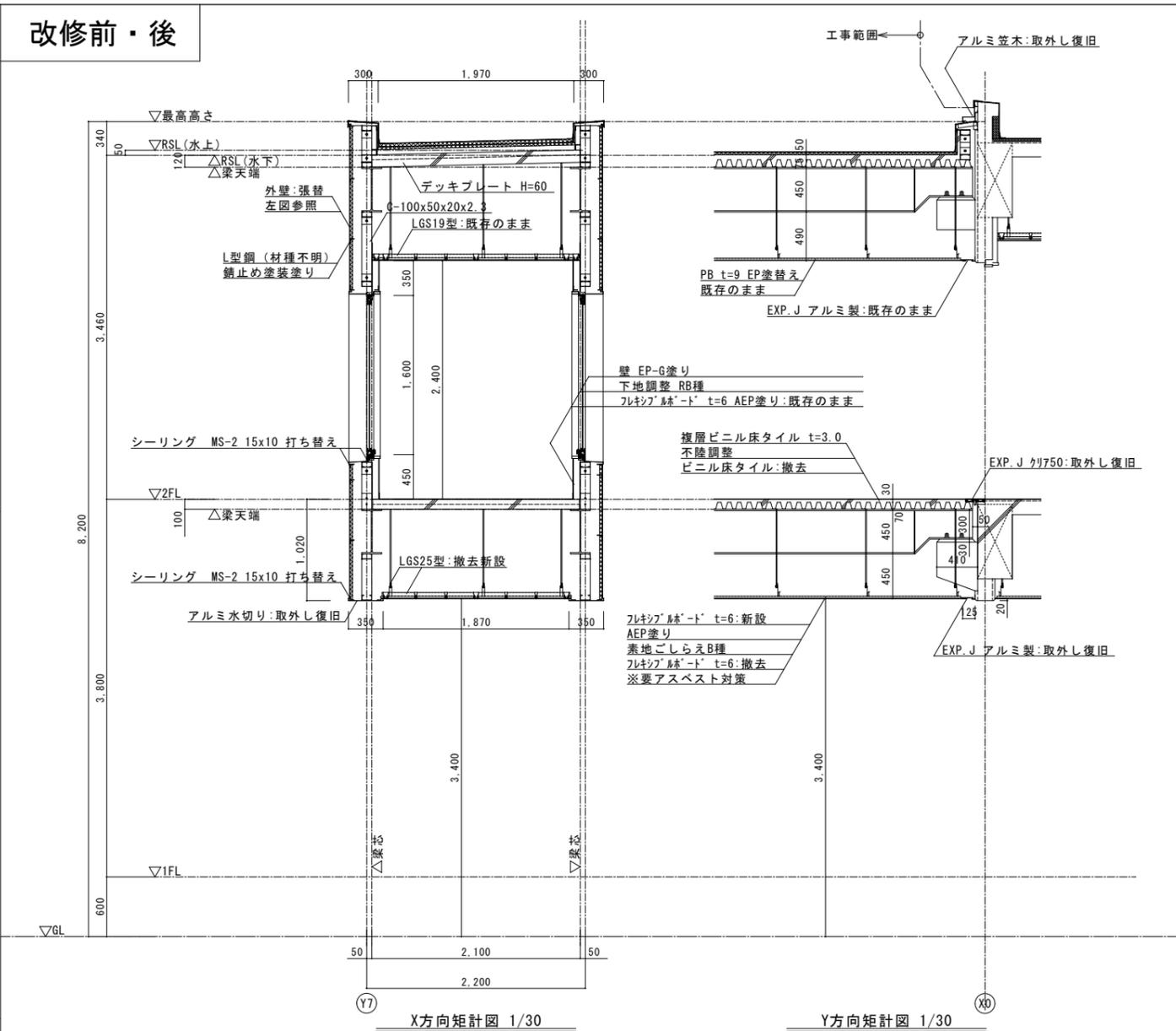
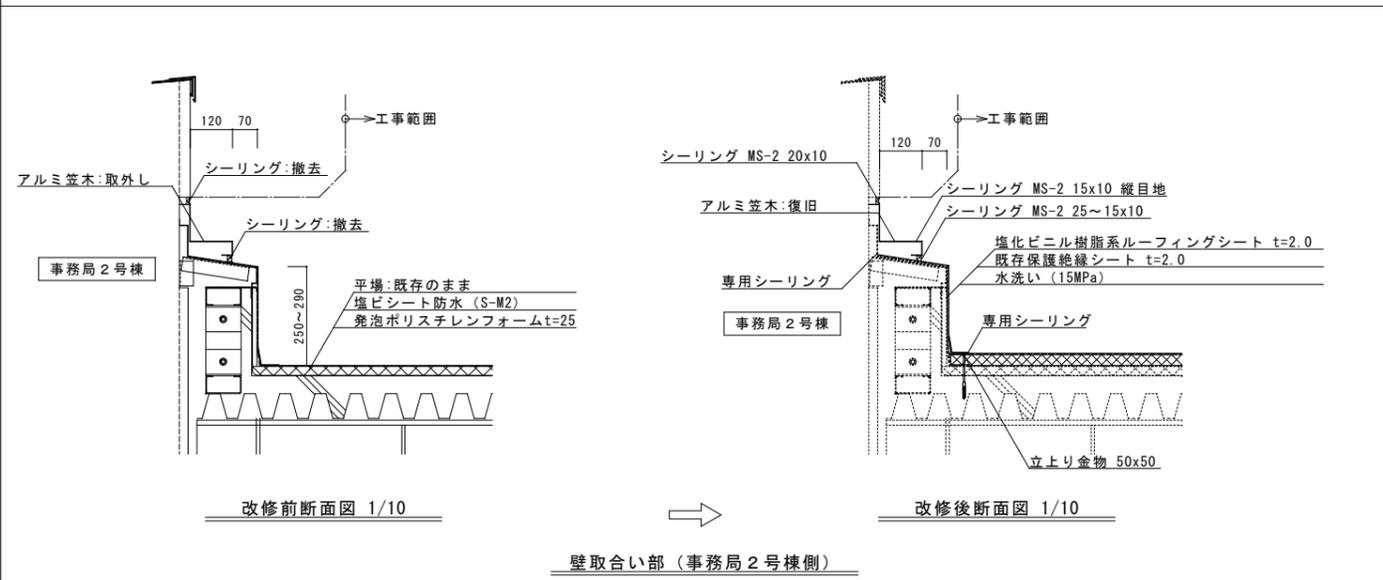
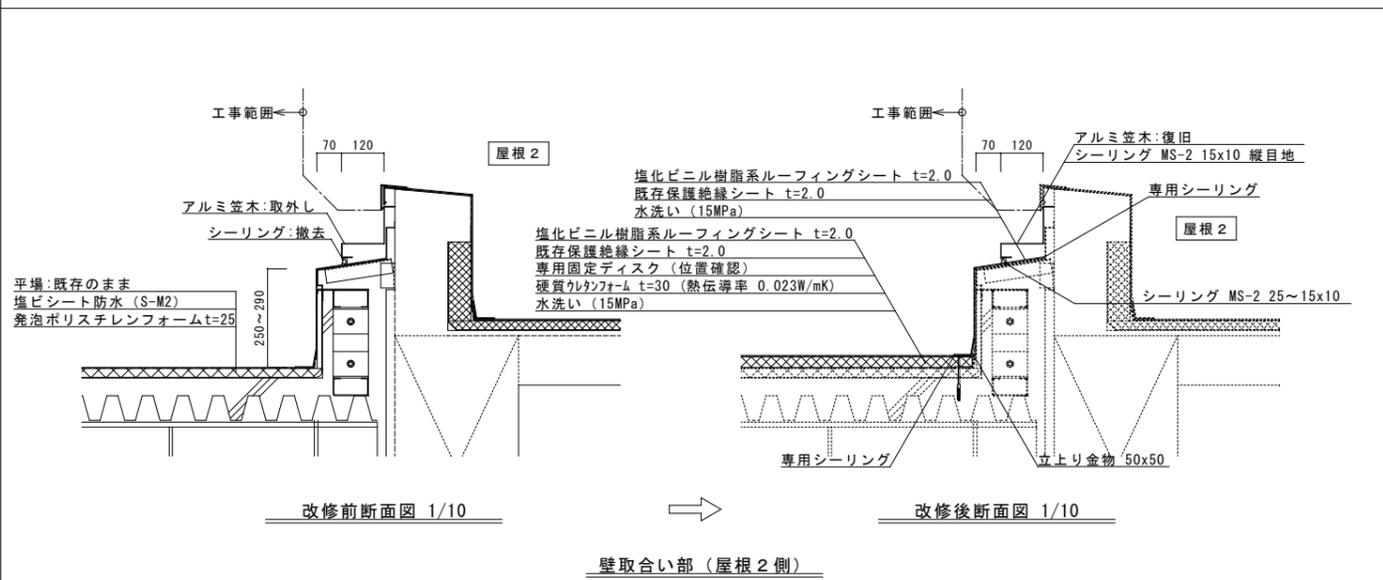
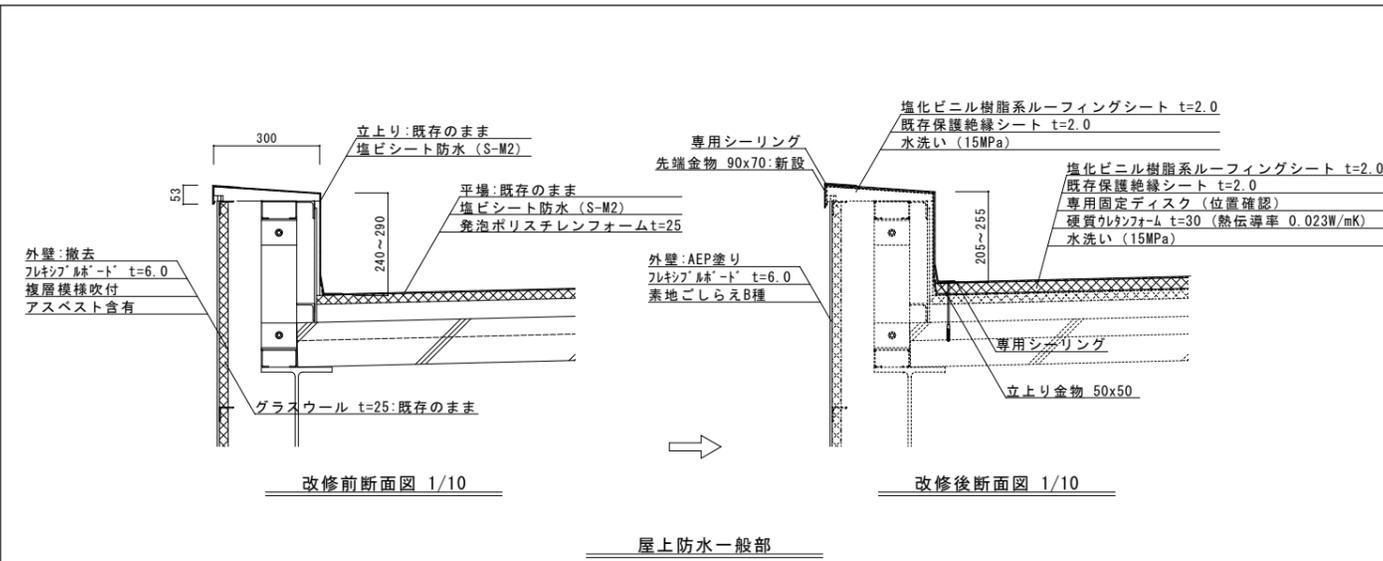


塩ビシート切り文字貼り  
チャコールグレー



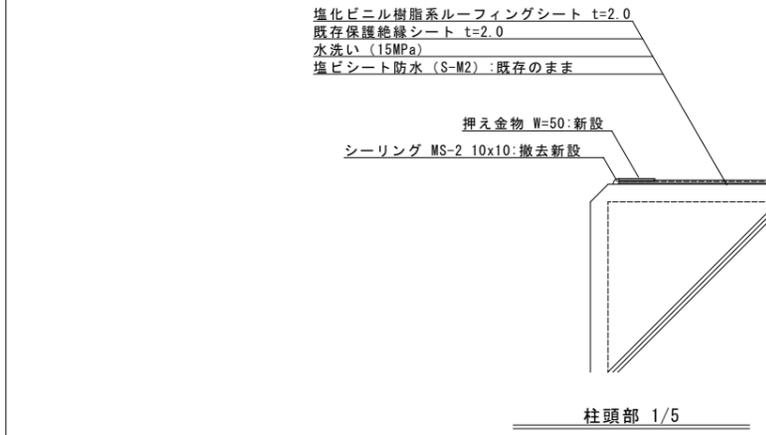
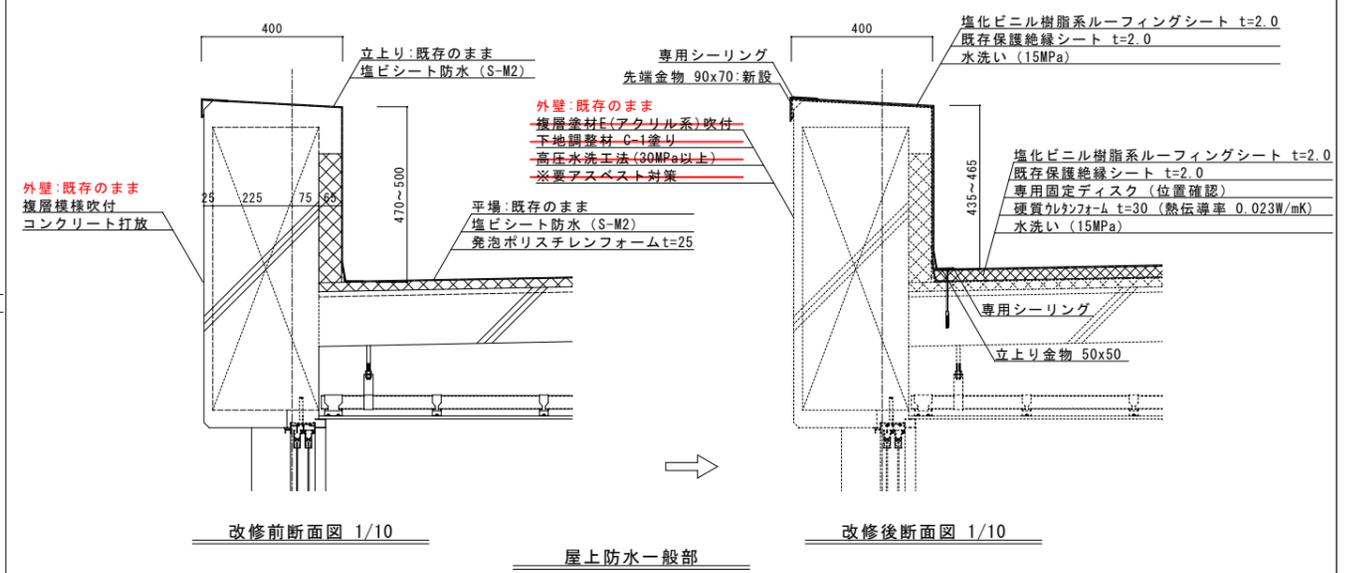
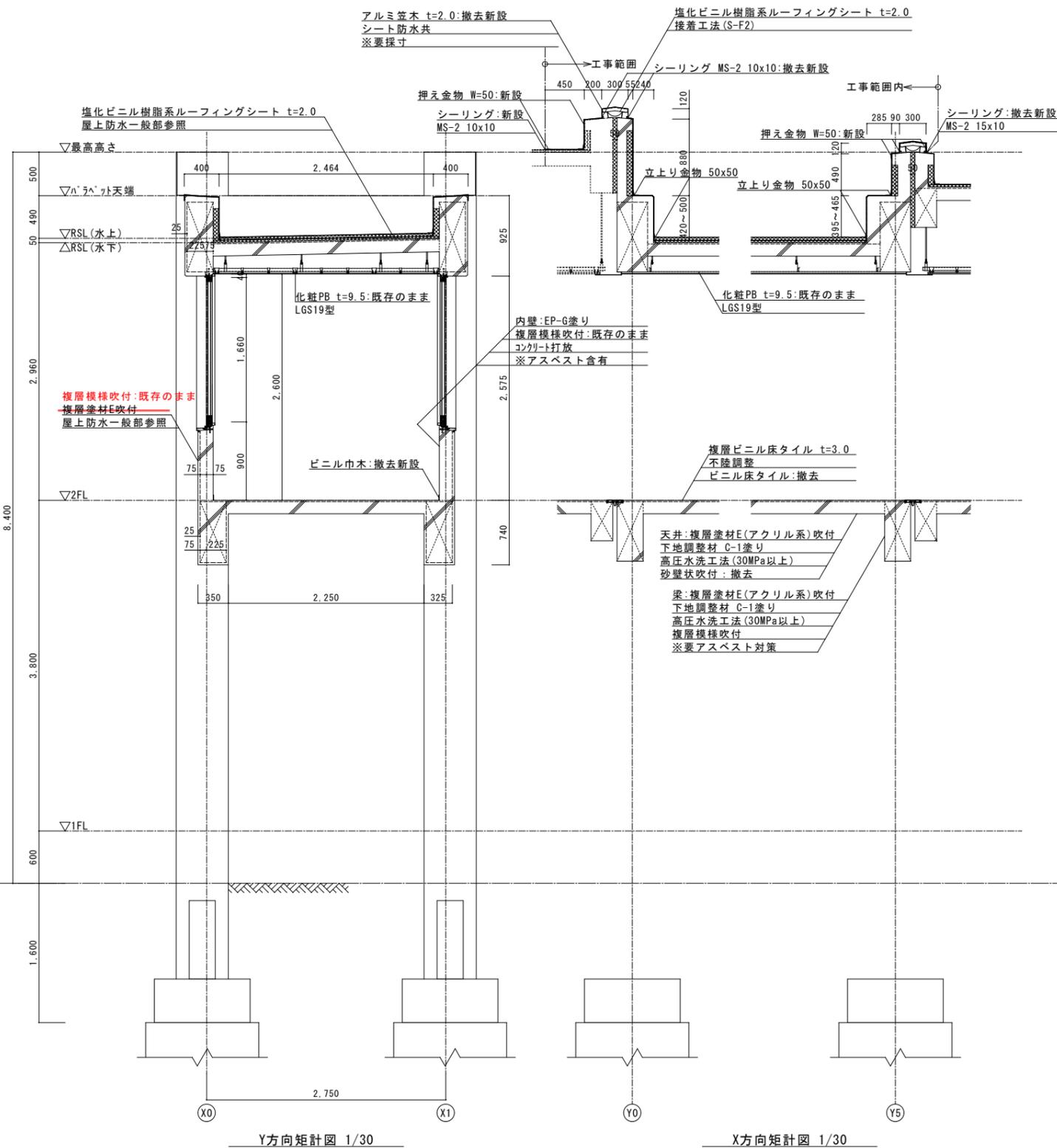
- B-1 電気室 x1
- B-2 EPS x3 (工事対象: 2、工事対象外: 1)
- B-3 倉庫 x3
- B-4 階段 x3 (工事対象: 2、工事対象外: 1)
- B-5 EV機械室 x1 (工事対象外)

S=1/1



Notices	Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(I期)改修工事	Project No.	2024_DCS23-NGOKLI	SHIBATA Architect and Associates	株式会社 シバタ建築設計事務所 新潟県小浜市泉町7-30 TEL. 0766(88)1177 / FAX. 0766(88)1321 https://shibata-and-associates.com/	Drawer	一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩	Drawing No.	A-115
		長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館改修実施設計業務(建築・設備)	渡り廊下A矩計図(改修前・改修後)	Date	2025.06			管理建築士 第21408121601014号 一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩			

改修前・後



◇ひび割れ・欠損部等

- ・ひび割れ：Uカットシーリング工法(弾性シーリング)
- ・※事前作業：既存仕上材(下地調整材共)を除去(幅100mm)
- ・爆裂部及び欠損部：鉄筋錆止め塗装(B種)後、モルタル補修
- ・※事前作業：既存仕上材(下地調整材共)を除去(幅100mm)
- ・撤去部、削孔部：適切に湿潤し、集塵装置付きディスクグラインダー工法にて除去
- ・上記改修により仕上が欠落した部分には新たにC-2にて段差解消を行なう

※除去したものはアスベスト含有材として適切に処置すること。

Notices	Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	Project No.	2024_DCS23-NGOKLI	Scale 1/5, 1/10, 1/30 (A1) 1/10, 1/20, 1/60 (A3)	SHIBATA Architect and Associates	株式会社 シバタ建築設計事務所 富山県小矢部市泉町7-30 TEL. 0766(88)1177 / FAX. 0766(88)1321 https://shibata-and-associates.com/	Drawer	一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩	Drawing No. A-116
		長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(Ⅰ期)改修工事	Drawing Name.	渡り廊下B矩計図・部分詳細図(改修前・後)				Date	2025.06	

### RC増設壁仕様

一般仕様

1. 共通仕様  
 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(最新版)及び「建築改修工事監理指針」(最新版)による。但し、「公共建築改修工事標準仕様書」に規定されている項目以外は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」(最新版)による。

2. 補強位置 : RC増設壁・RC開口部基礎による補強(伏図・軸組図参照)

3. 使用鉄筋 : D10~D16:SD295, D19以上:SD345, 6φ:SR235

4. 使用コンクリート設計基準強度  
 主要構補強部材 : 設計基準強度  $F_c=24\text{N/mm}^2$  + 構造体強度補正値(3~6N/mm<sup>2</sup>)以上(普通コンクリート・無収縮)スランプ18cm  
 無収縮材(膨張性混和材30kg/m<sup>3</sup>同等品以上)  
 無収縮コンクリート使用箇所(RC増設壁・RC開口部基礎)

5. あと施工アンカー「接着系アンカー(ガラス管タイプの有機系)」  
 アンカー材料 D10~D16(SD295), D19以上(SD345) : (メーカーにより素材強度が保障されたもの)  
 工法 鉄筋検査の後、低騒音・低振動・無粉塵工法で施工のこと。(但し、上向きは一般工法)  
 検査 接着系アンカー打設面  
 検査施工後「建築改修工事監理指針 最新版(下巻)(財)建築保全センター発行  
 8章 耐震改修工事、12節 あと施工アンカー工事に準じて、あと施工アンカー引張荷重試験を実施すること。  
 (各補強構面の上下横各毎1本計3本以上: 監理者と協議の事)  
 あと施工アンカーの施工は、「JCAAの認定資格登録証」取得者にてJCAAの技術資料(施工要領等)を参考にすること。  
 ・本工事における、あと施工アンカー引抜き耐力は右表の通り  
 アンカー筋は頭部ナット付き先端45°カット品を使用のこと。(配筋詳細図に準拠すること)

6. モルタル設計基準強度(無収縮)  
 $F_c=30\text{N/mm}^2$ 以上  $F_t=40\text{N/mm}^2$ 以上

7. 注意事項  
 1) スパイラル筋や壁配筋等の材料の加工に先立ち躯体寸法を測定し、これらの補強等を実装に合った寸法に加工すること。  
 2) 増設部材と既存コンクリート躯体との接触面については、既存コンクリート躯体面を目直しとし、コンクリート打設前に充分な水湿しを行う。  
 3) コンクリートの打設にはバイブレーターの使用、又はタタキにより密実なコンクリートとなるように充分な施工計画を立てる。  
 4) 後打ちコンクリートは膨張性混和剤を添加した無収縮コンクリートとして計画、施工する。  
 5) 後打ちコンクリートは梁下20cmまで打設し壁頂部は無収縮モルタル圧入とする。  
 6) コンクリートの強度発現期間内は充分な湿度状態で養生すること。  
 又、養生期間中は振動等を与えないように注意すること。  
 7) フレア溶接が片面の場合は10d以上溶接すること。  
 8) その他は特記仕様書による。

あと施工アンカー引抜き耐力表		
径	埋込み長さ	試験確認荷重
D22	180mm(7da)	2/3 x 89.75 = 59.8 kN/本
D19	160mm(7da)	2/3 x 66.94 = 44.6 kN/本
D16	180mm(10da)	2/3 x 68.66 = 45.7 kN/本

※ あと施工アンカーは、全数外観検査を行うこと。

### 検査・提出書類

検査

- 材料検査(鋼材・溶接材料・錆止め塗料等)
- 取寸検査
- 開先検査
- ・仮付け検査
- 溶接部検査
- 外観検査
- 超音波探傷試験(第三者機関、社内自主検査とも100%実施)
- 製品検査

提出書類

- 加工業者の履歴書
- 使用材料の明細書
- 製作要領書
- 施工計画書
- 高カボルトの成績書
- 溶接技術者資格証明書
- 溶接工資格証明書
- 施工図
- 錆止めの塗装履歴測定報告書

材料

鋼材

- JIS G3136 建築構造用圧延鋼材
  - SN400B・SN400C
  - ・SN490B・SN490C
- ・建築構造用冷間成形角形鋼管 大臣認定及び日本建築センター評定・評価取得
  - ・BOP235・BCR295
- JIS G3101 一般構造用圧延鋼材
  - SS400・SM490
- ・JIS G3444 一般構造用炭素鋼管
  - ・STK400・STK490
- JIS G3350 建築構造用冷間成形軽量鋼材
  - SSC400

高カボルト

- ・JIS B1186 2種(F10T)
- ・溶融亜鉛めっき高カボルト(F8T)
- (JIS, B1186(F8T)と同等品(一般認定品))
- TCボルト SSボルト(上記と同等以上の品質保証のあるもの)

普通ボルト

- JIS B1180 JIS B1181の中3級

溶接材料

- 炭素アーク溶接棒 JIS Z3211
- 炭素ガスアーク溶接用ワイヤ JIS Z3312
- サブマージアーク溶接用ワイヤ JIS Z3311

錆止めの塗料

- 屋内 ・ JIS K5621 一般用錆止めペイント2種 (素地ごしらえC種)
- 屋内 ○JIS K5674 クロムフリーさび止めペイント (素地ごしらえC種)
- 屋外 ○JIS K5674 クロムフリーさび止めペイント (素地ごしらえC種)
- 屋外 ・ JIA H8641 溶融亜鉛めっき仕上

※錆止めの塗装は、工場1回・現場1回塗りとする。

### RC増設壁耐震壁標準図

・割製補強筋は始めに上下の梁部分にセットし、次に左右の柱のコーナー部分へ先にねじ込んだ後に、中央部に押し込むこと。

### 接着系アンカー筋の埋込み深さおよび定着長さの定義

$Q_e = Q_1 - d$

- $Q_e$  : 有効埋込み深さ(計算上での埋込み深さ)
- $Q_1$  : 埋込み深さ(孔深さ)
- $Q_2$  : 定着長さ
- $d$  : アンカー筋の外径

### アンカー筋の寸法と形状

補強例	呼び名 d	埋込み深さ $Q_1$ (mm)	定着長さ $Q_2$ (mm)		最小長さ $Q = Q_1 + Q_2$ (mm)	
			20d以上	30d以上	28d以上	38d以上
					28d以上	38d以上
RC 壁補強	D10	80	200	300	280	380
	D13	104	260	390	364	494
	D16	128	320	480	448	608
	D19	152	380	570	532	722
	D22	176	440	660	616	836

d : アンカー筋呼び名  
 (注記) コンクリート強度が  $100 \leq F_c < 135$  の場合は、埋込み深さ  $Q_1$  を  $10d$  以上とする。

### スパイラル筋

壁厚	150	180	200	250	300
スパイラル径	7.5	10.0	12.0	15.0	20.0
ピッチ	50				

スパイラル筋 6φ  
 スパイラル筋の重ね継手は、2巻以上とする。

### 柱・梁増打部補強要領

### 増設壁開口部補強要領

### コンクリート及びモルタル圧入要領図

### あと施工アンカー間隔及び呼称

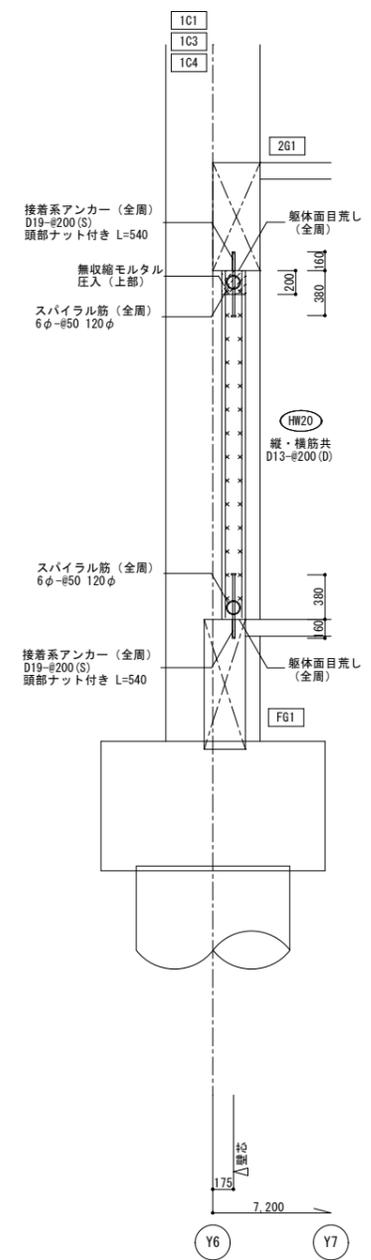
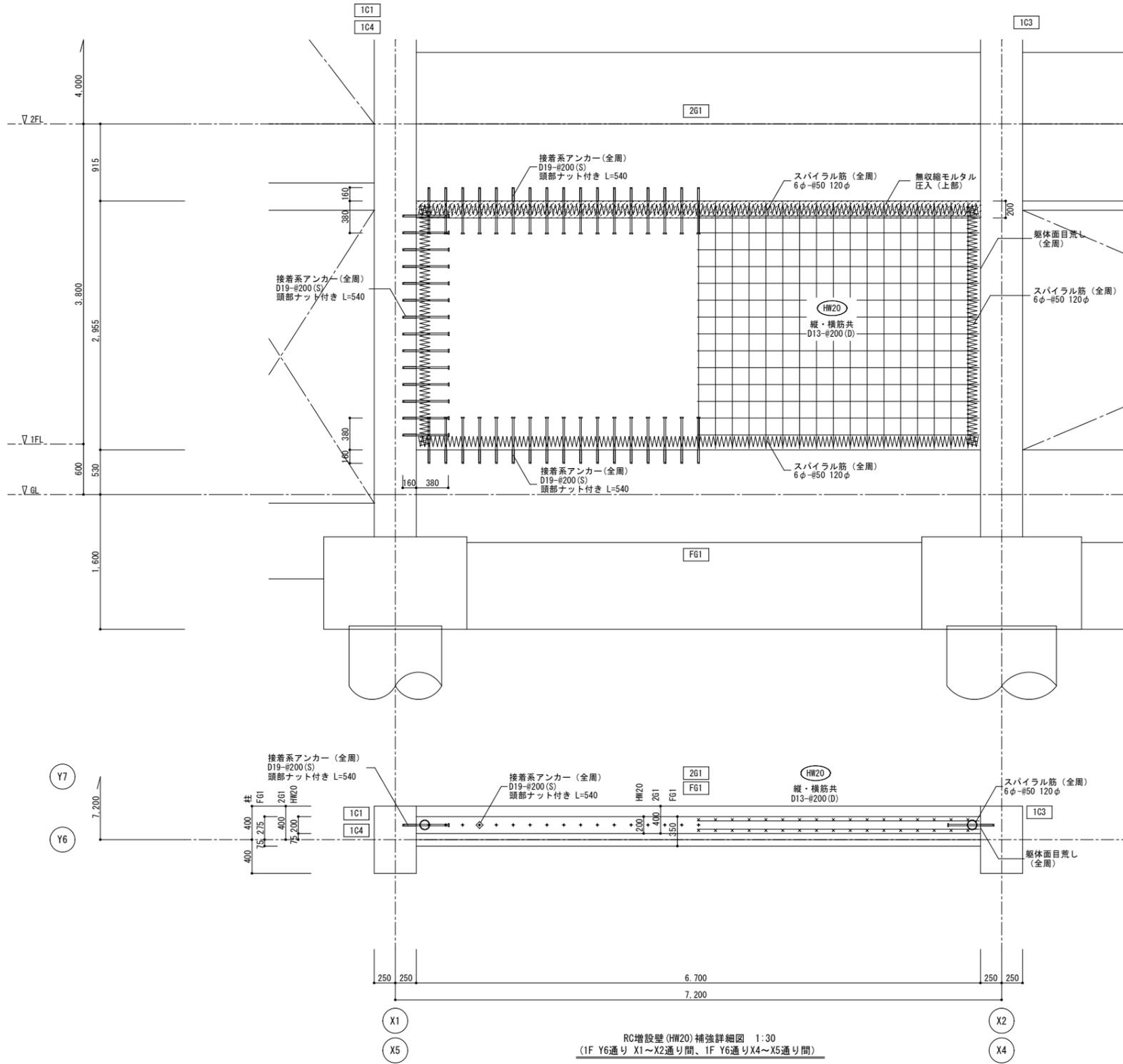
シングル配置

### あと施工アンカー間隔及び呼称

チドリ配置



# 補強詳細図



1F: HW20 増設壁リスト (2ヶ所)

HW20	位置	1F (Y6通りX1~X2通り間、Y6通りX4~X5通り間)	材質
補強壁部材	内法寸法 (WxH)	壁: 6,700x2,955	
	壁筋	縦・横共 D13-#200 (ダブル) 幅止め筋 D10-#800 以内	SD295 SD295
接着系アンカー	上部・下部	D19-#200 (シングル) L=540 <33-D19 x2>	SD345
	左部・右部	D19-#200 (シングル) L=540 <14-D19 x2>	SD345
スパイラル筋	全周	φ6 #50 120φ	SR235
モルタル	上部	無収縮モルタル圧入 <del>40N/mm<sup>2</sup></del> 40N/mm <sup>2</sup>	

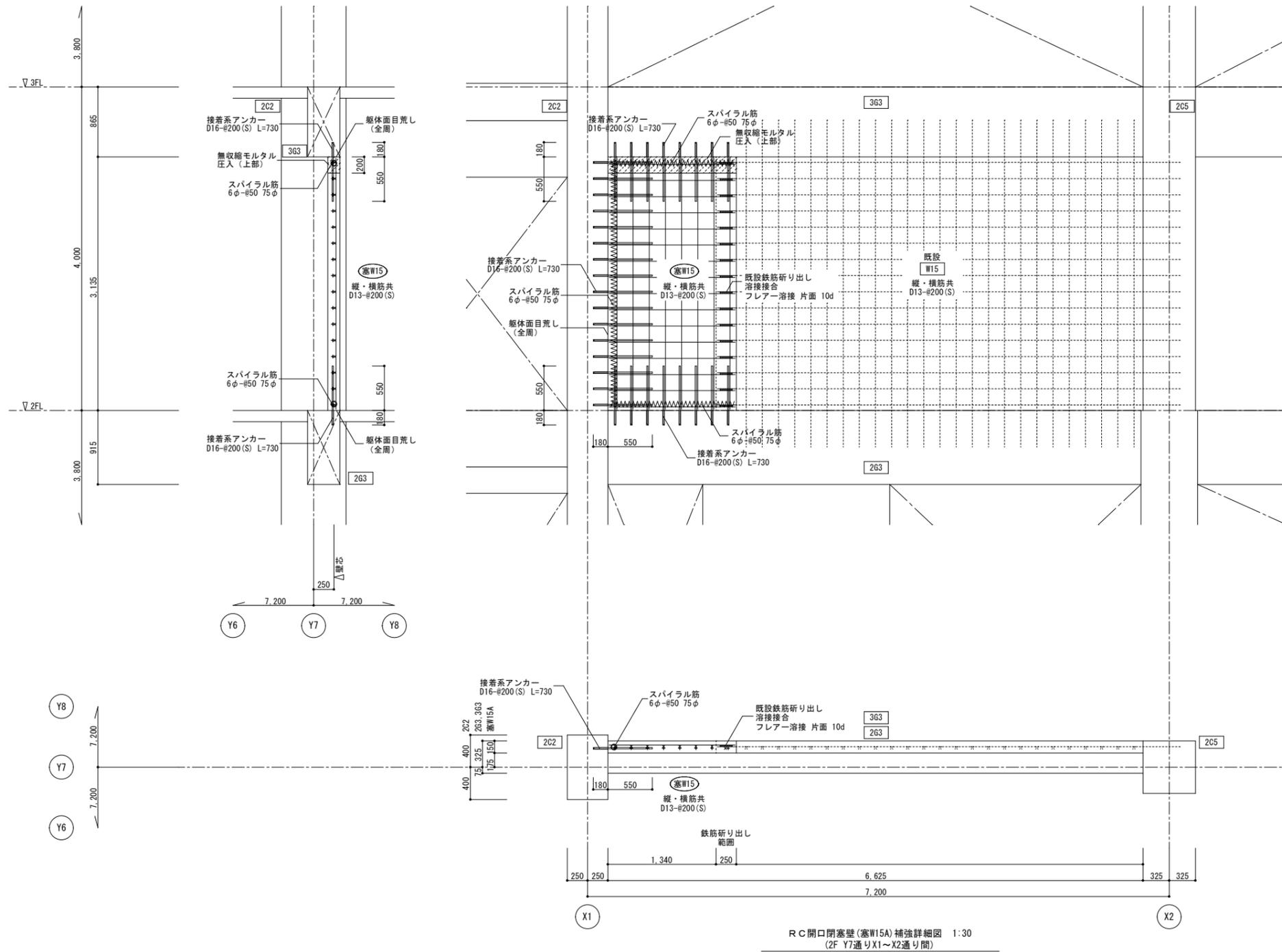
※ 接着系アンカーは、施工前に鉄筋探査を行い施工位置を確認する事。  
 ※ 接着系アンカーによる接合面は、目荒しを行う事。

RC増設壁 (HW20) 補強詳細図 1:30  
 (1F Y6通り X1~X2通り間、1F Y6通り X4~X5通り間)





補強詳細図



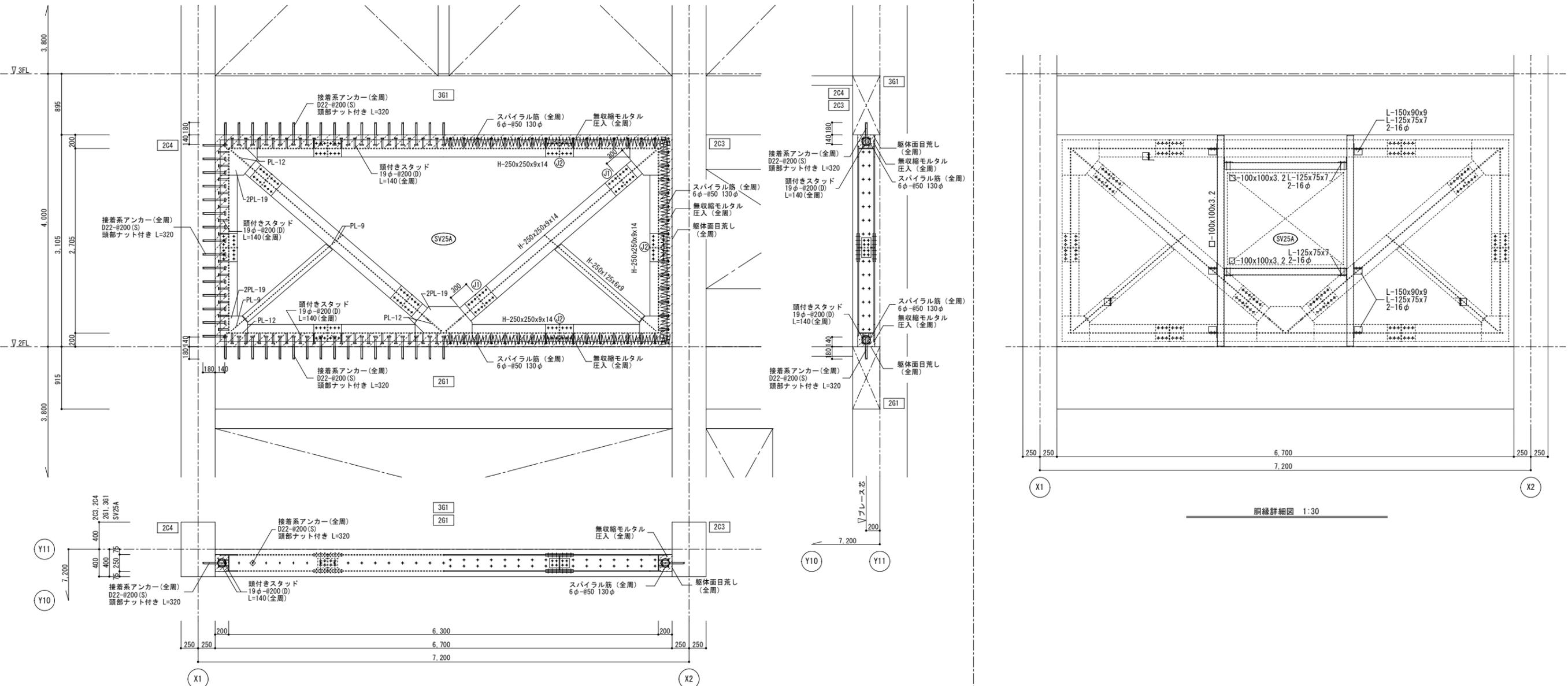
2F: Sei W15 開口閉塞壁補強リスト

補強壁部材	位置	2F (Y7通りX1~X2通り間)	材質
補強壁部材	内法寸法 (WxH)	閉塞壁: 1,340+250(筋出部) x 3,135	
	壁筋	縦・横共 D13-#200 (シングル)	SD295
接着系アンカー	上部・下部	D16-#200(シングル) L=730 <8-D16 x2>	SD295
	左部	D16-#200(シングル) L=730 <16-D16>	SD295
	右部	既設鉄筋折り出し、フレアー溶接 片面10d	SD295
スパイラル筋	上部・下部・左部	φ6 #50 75φ	SR235
モルタル	上部	無収縮モルタル圧入 40N/mm <sup>2</sup> 40N/mm <sup>2</sup>	

※ 接着系アンカーは、施工前に鉄筋探査を行い施工位置を確認する事。  
 ※ 接着系アンカーによる接合面は、目荒しを行う事。

RC開口閉塞壁(Sei W15A)補強詳細図 1:30  
 (2F Y7通りX1~X2通り間)

# 補強詳細図



枠付き鉄骨ブレース (SV25A) 補強詳細図 1:30  
(2F Y11通り X1~X2通り間)

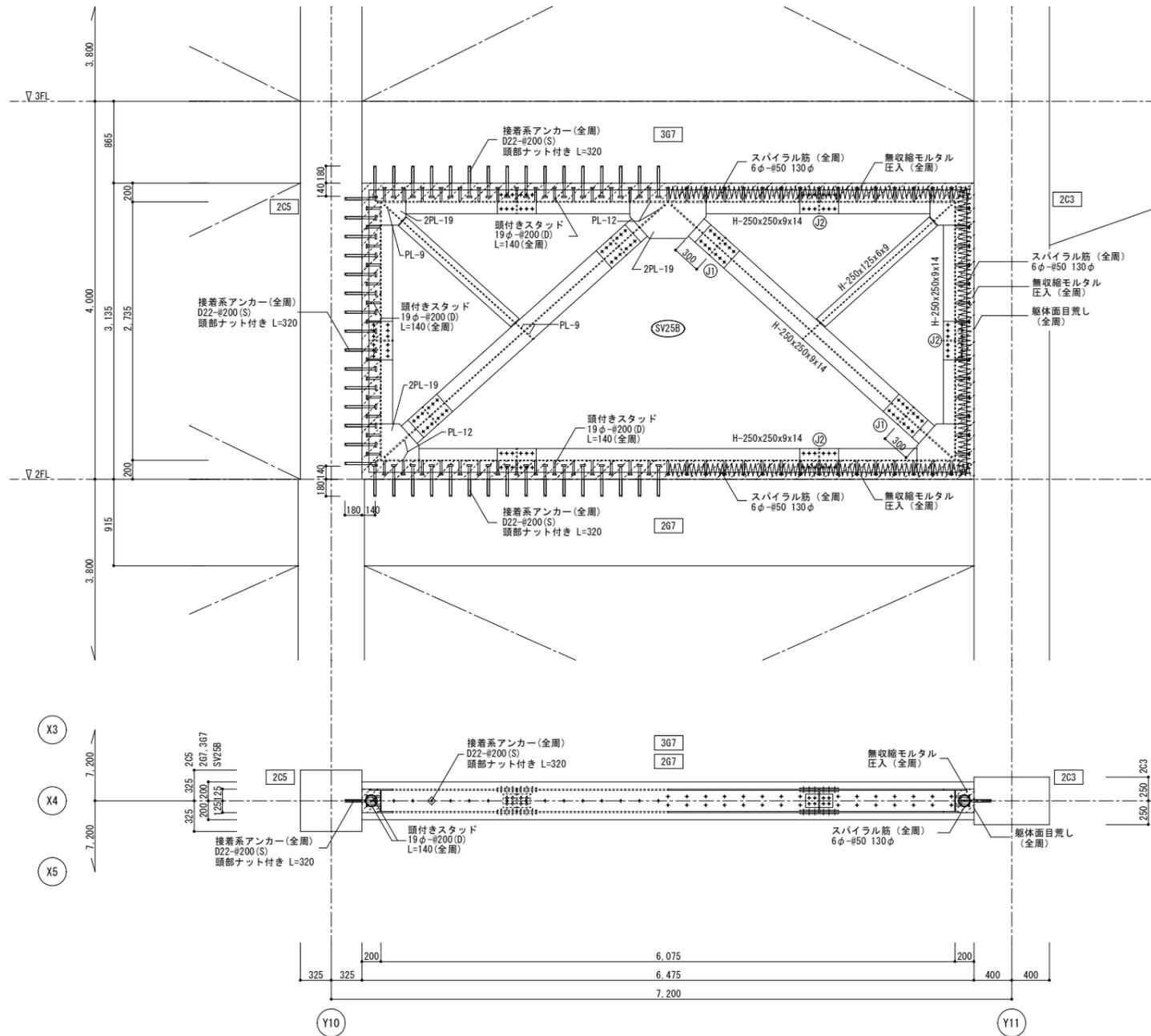
2F: SV25A 鉄骨ブレース補強リスト

SV25A	位置	2F (Y11通り X1~X2通り間)	材質
補強鉄骨部材	枠寸法 (鉄骨芯)	L x H = 6,300 x 2,705	
	ブレース材	H - 250x250x 9x14 (SN400B)	SN400B (PL含む)
	枠材	H - 250x250x 9x14 (SN400B)	SN400B (PL含む)
	座屈止め	H - 250x125x 6x 9 (SN400B)	SN400B (PL含む)
頭付きスタッド	上部・下部	19φ-#200 (ダブル) L=140 <60-19φ x2>	JIS B 1198
	左部・右部	19φ-#200 (ダブル) L=140 <26-19φ x2>	JIS B 1198
接着系アンカー	上部・下部	D22-#200 (シングル) L=320 <33-D22 x2>	SD345
	左部・右部	D22-#200 (シングル) L=320 <15-D22 x2>	SD345
スパイラル筋	全周	φ6 #50 130φ	SR235
モルタル	全周	無収縮モルタル圧入 $\geq 40N/mm^2 \sim 40N/mm^2$	

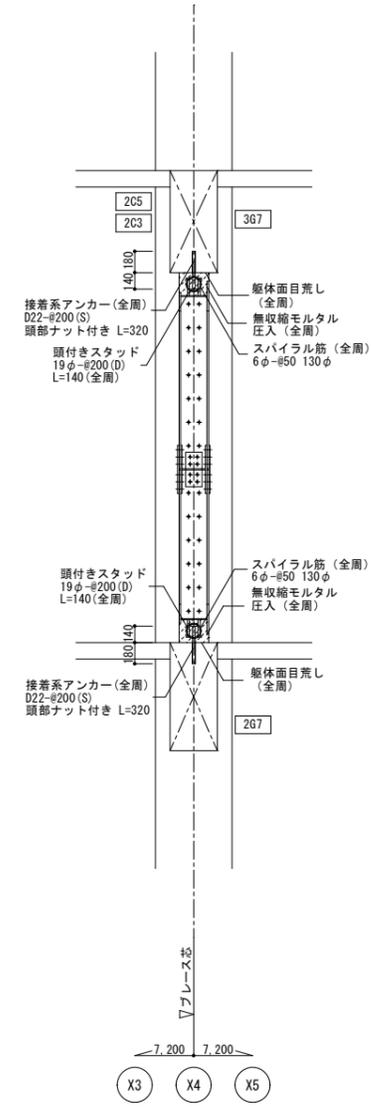
※ 接着系アンカーは、施工前に鉄筋探査を行い施工位置を確認する事。  
※ 接着系アンカーによる接合面は、目荒しを行う事。

網線詳細図 1:30

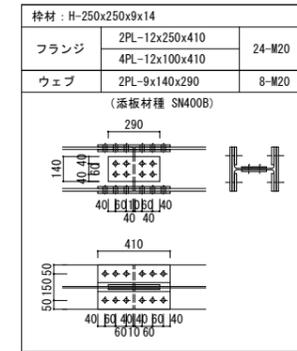
# 補強詳細図



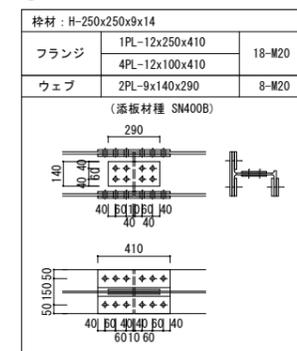
枠付き鉄骨ブレース (SV25B) 補強詳細図 1:30  
(2F X4通りY10~Y11通り間)



① 継手表 1/20



② 継手表 1/20

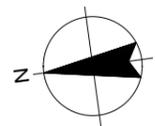
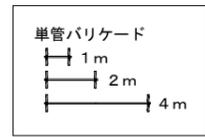
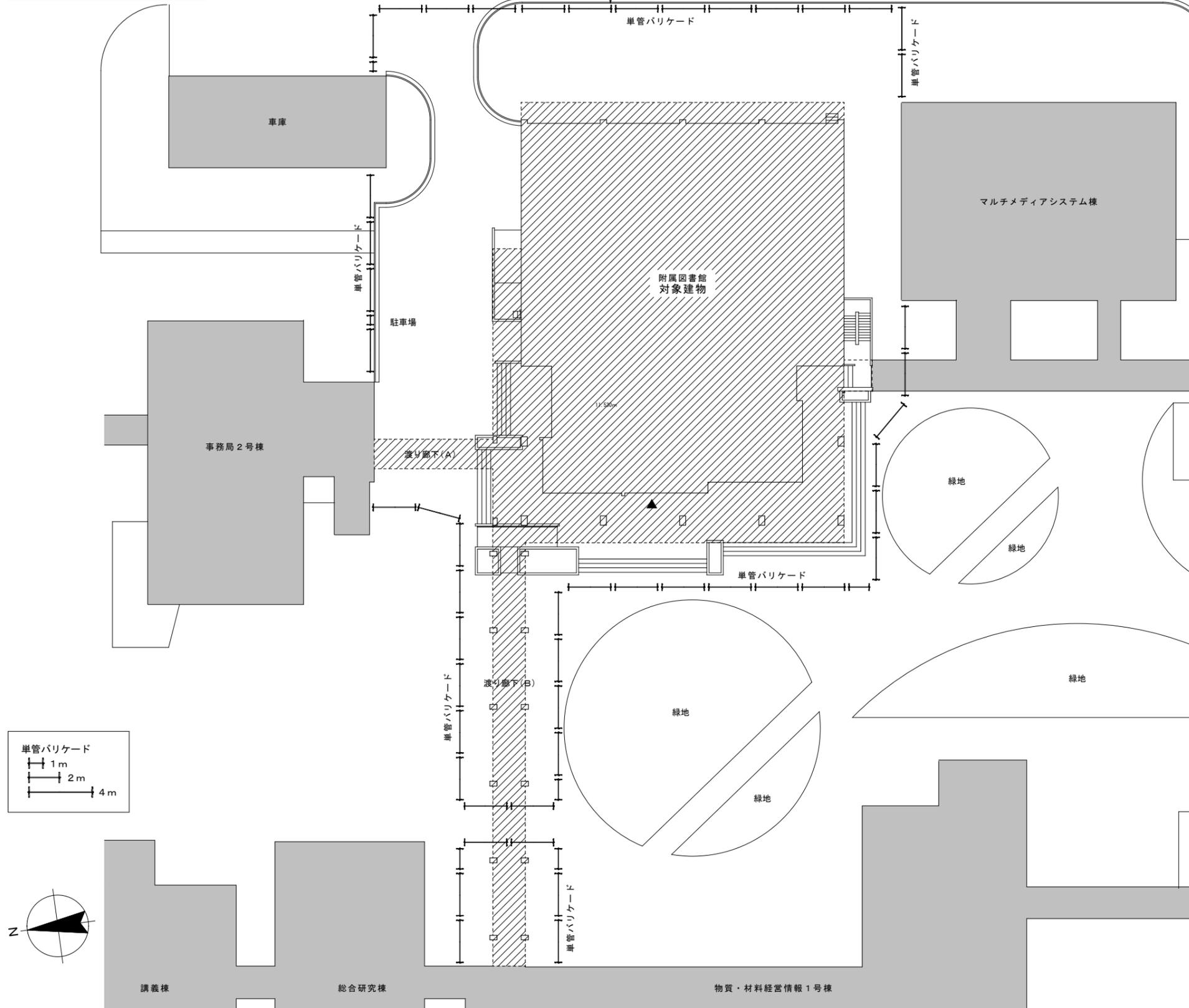


2F: SV25B 鉄骨ブレース補強リスト

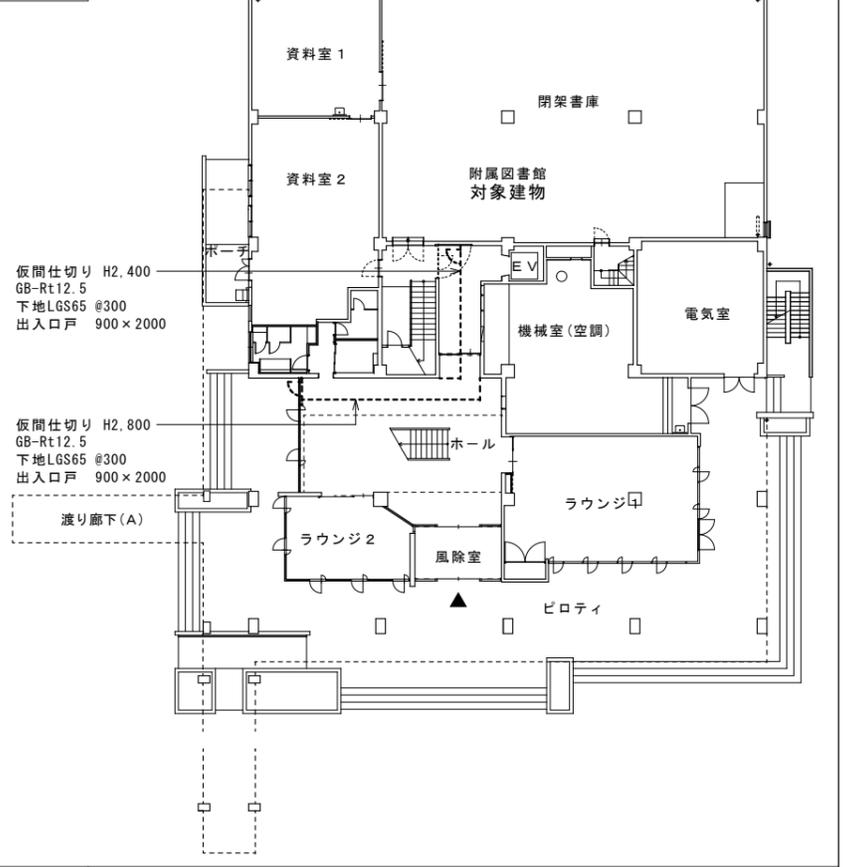
SV25B	位置	2F (X4通りY10~Y11通り間)	材質
補強鉄骨部材	枠寸法(鉄骨芯)	L x H = 6,075 x 2,735	
	ブレース材	H - 250x250x 9x14 (SN400B)	SN400B (PL含む)
	枠材	H - 250x250x 9x14 (SN400B)	SN400B (PL含む)
	座屈止め	H - 250x125x 6x 9 (SN400B)	SN400B (PL含む)
頭付スタッド	上部・下部	19φ-#200(ダブル) L=140 <S8-19φ x2>	JIS B 1198
	左部・右部	19φ-#200(ダブル) L=140 <S6-19φ x2>	JIS B 1198
接合系アンカー	上部・下部	D22-#200(シングル) L=320 <S2-D22 x2>	SD345
	左部・右部	D22-#200(シングル) L=320 <S15-D22 x2>	SD345
スパイラル筋	全周	φ6 #50 130φ	SR235
モルタル	全周	無収縮モルタル圧入 <30N/mm <sup>2</sup> 40N/mm <sup>2</sup> >	

※ 接合系アンカーは、施工前に鉄筋探査を行い施工位置を確認する事。  
※ 接合系アンカーによる接合面は、目荒しを行う事。

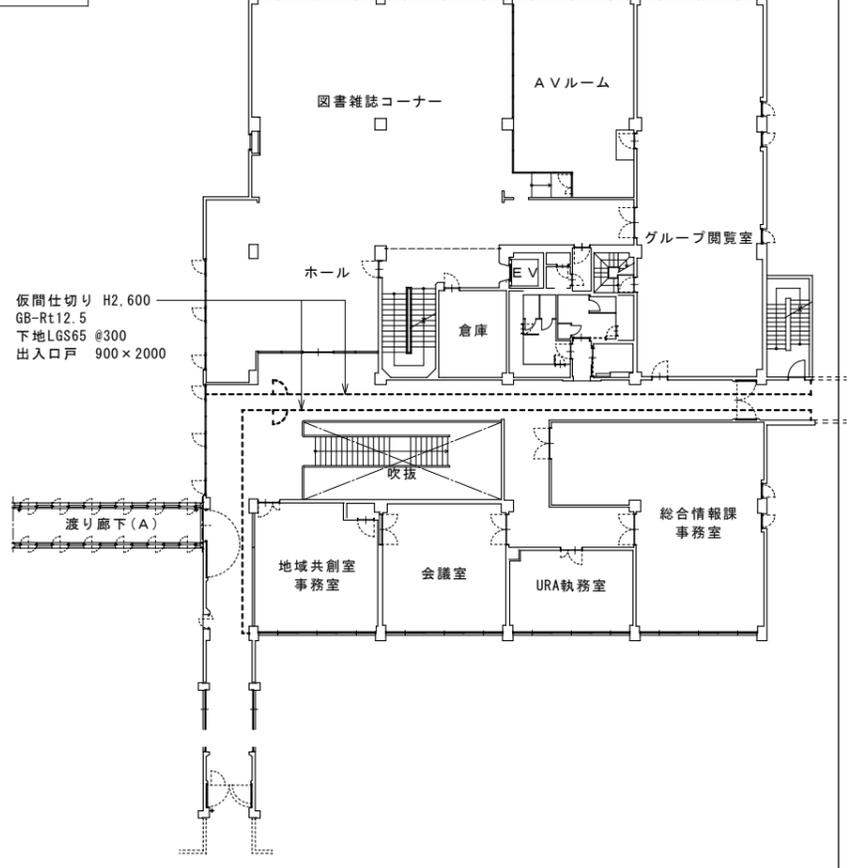
凡例	内容
	改修建物
	既存建物



1階



2階



Notices	Client	国立大学法人長岡技術科学大学 施設課	Project No.	2024_DCS23-NGOKL1	Scale	1/200 (A1) 1/400 (A3)	SHIBATA Architect and Associates 株式会社 シバタ建築設計事務所 富山県小矢部市長町7-30 TEL. 0766(88)1177 / FAX. 0766(88)1321 管理建築士 第21408121601014号 一級建築士 大臣登録 第344849号 https://shibata-and-associates.com/	Drawer 一級建築士 大臣登録 第344849号 栗田 昭浩	Drawing No. 参考
	Drawing Name.	長岡技術科学大学(上富岡町)附属図書館(I期)改修工事 附属図書館改修実施設計業務(建築・設備)	File Name.		Date	2025.06			